EPS
入稿用

中國新聞社

デジタル入稿ガイドブック

［第４.０版］

2021年７月
地域ビジネス局 営業部

はじめに

新聞印刷は、商業印刷のように上質紙を使用するのとは大きく異なります。広告原稿を制作、入稿する際はその特性を十分把握しておくことがたいせつです。また守っていただかなければならない制作上の注意点や基本ルールがあります。

まず、新聞印刷の特性についてご説明いたします。

◆新聞はオフセット輪転機で１時間に約10万部以上の高速スピードで黄色味がかったザラ紙に刷り上げます。そのため高速印刷に対応できるように、インクが早く吸収しやすくなっています。それに比べ商業印刷は真っ白な上質紙に時間をかけて刷り上げるため、インキ濃度を上げることができますが新聞印刷では、裏写りや対向面への汚れを防ぐため最暗部のインク総量の上限をを250％に設定しています。

◆輪転機で高速印刷される紙面は、ゆっくり乾燥させる時間がありません。紙に浸透させて自然に乾燥させるため、新聞印刷のインキは粘度の低いものを使用しています。そのため、印刷時に網点がにじんで広がります。この現象を「ドットゲイン」といいます。弊社では中間調（50％の網点）で約20％の広がりがあります。原稿制作時には中間部分を若干明るくするなど十分考慮してください。

入稿をトラブルなく円滑に行うためには、正しいデータ制作と正しいデータ保存が大前提となります。データに不備やミスがありますと文字化けやサイズ異常など意図しない結果を発生させてしまいます。本ガイドは、社団法人日本新聞協会広告委員会が発行した「新聞広告デジタル送稿ガイドライン」を標準仕様とし、新聞広告原稿を制作、入稿する際の安全確実なルールなどをまとめたものです。制作者のみにとどまらず新聞広告に携わるすべての皆さまに理解していただき、スムーズな広告掲載を行うため、ぜひご活用ください。

ご不明な点は、
中国新聞社地域ビジネス局広告編成チーム　☎　082（236）2203
メディア中国広告編成部　☎　082（297）1366まで

CONTENTS

［1］ＭＯ入稿原稿の制作環境 ◎基本の注意事項　02～
［2］データの制作から入稿までの流れ　03～
［3］デジタル入稿運用規約　05～
［4］デジタル入稿の必須１２原則　06～
［5］原稿の制作 ◎Illustrator 07～ ◎Photoshop 18～ ◎原稿サイズについて 27～
［6］入稿前の準備　28～
［7］入校前の最終チェック　30～
［8］カラーの事前確認（CMSカラープルーフ）　43～
［9］入稿　44～

CAUTION

●このガイドブックはIllustratorCS5及びPhotoshopCS5をベースに作成しております。
入稿データはIllustrator、Photoshopで作業するようお願いします。

［1］MO入稿原稿の制作環境

Mac OS

●原稿データの制作には、Macintoshを使用してください。
OSは、Mac OS9.2～Mac OSXを使用してください。

メディア

●原稿データの入稿には、CD-R/CD-RWを使用してください。
※MOでの入稿も弊社MOドライブが使用不能になるまでは、受け付けます。

アプリケーション

●原稿データの制作には、
Adobe Illustrator8.0.1J～CS4
Adobe Photoshop5.5J～CCを使用してください。

※IllustratorCS5、CS6、IllustratorCCについて
EPS入稿はIllustratorCS4までの対応となりますのでCS4までは下位バージョン保存をしないでください、CS5・CS6・CCは、原則N-PDF入稿でお願いします、やむを得ずEPSで入稿する場合（記事登録する物、連合広告の部品など）CS5・CS6はそのまま同バージョン保存、CCはCS6下位バージョン保存でお願いします。(一部機能未対応)
※Illustrator 8下位バージョン保存をするとIllustrator 8用のチェックエンジンが自動的に適用されるため、上位の機能を使用していた場合、PSエラーとなることがあります。Illustrator 8下位バージョン保存はしないでください。

●基本の注意事項

フォント（P.08）

●使用フォントは、必ずPostScriptフォントを使用してください。
●原稿データ上のフォントは**必ず全てアウトライン化**を行ってください。
●**４ポイント以下の文字**は使用しないでください。※白抜き明朝体は８ポイント以上

サイズ（P.27）

●カラー、モノクロともに**規定のサイズ**で制作してください。

色指定（P.09）

●モノクロ広告の場合は**グレースケール**。カラー広告の場合は**CMYK**を使用してください。
単色広告　※4色分解（CMYK）データにて入稿してください。
●それ以外のカラーモードは使用しないでください。

オブジェクト（P.14）

●孤立点やガイドライン、トンボなど、不要なオブジェクトは**必ず全て削除してください**。
●**0.25ポイント以下**の線幅は使用しないでください。

画像データ（P.18～）

●配置画像データの保存形式は**EPS形式**としてください。
●モノクロ広告の場合は**グレースケール**。カラー広告の場合は**CMYK**を使用してください。
●それ以外のカラーモードは使用しないでください。
●解像度は適切な範囲内に設定してください。
●**ICCプロファイル**には対応しておりません。
●中間部で約20%発生する**ドットゲイン**を考慮してください。

データ保存（P.16）

●掲載データのファイル形式は配置画像も含め**EPS形式**で保存してください。
●**掲載データ（IllustratorEPS）**をCDの**第１階層へ保存**してください。
●**ファイル名規約**に従ってファイル名をつけてください。
●掲載データの**ファイルサイズは200MB以下**としてください。

データチェック（P29～）

●入稿前に掲載データのチェックを行ってください。
●フォント、カラー設定などのチェックを行い、デジタル入稿確認書へ記入してください。
●CDディスクのラベル記入と。入稿前に必ずウイルスチェックを行ってください。

［2］データの制作から入稿までの流れ

原稿制作

レイアウトデータ
（Illustrator、Photoshopで制作）

Illustrator　Photoshop

Adobe Illustrator　アタリ画像

◆配置画像の形式
配置画像ファイルはEPS形式
アタリ画像ではなく**適切にトリミングした実データ（実寸）**を配置

◆画像の入力解像度
配置画像の入力解像度は掲載実寸で200ppi程度。それ以上の解像度は、**データを重くするだけで紙面には反映されません**

EPS形式で保存　実画像と交換

実画像データ
地球.eps

○○○.eps　地球.eps

EPS保存した掲載データ

入稿前の準備

◆メディアへ保存
EPS保存した１つの原稿データを１つのCDに保存してください

◆ラベルの記入
入稿するCDラベルを記入してください

◆確認書の記入
デジタル入稿確認書に記入してください

◆念校ゲラの添付
モノクロの場合、念校ゲラを１枚、
カラーの場合、色見本（簡易校正可）を１枚添付

《モノクロ・カラー》本入稿締め切り	《カラー》事前確認（CMSカラープルーフ）
掲載日２日前／正午まで	掲載日４日前まで

※入稿締め切りについては、次ページにて詳細に説明してあります

入　稿

◆準備が整いましたら、中国新聞社 地域ビジネス局へお持ちください
注）データ入稿前に必ず広告の審査を済ませてください

◆完全原稿としての入稿に限ります
入稿データに不備があった場合に備え、その広告の制作者がすぐに対応できるようにしておいてください。
入稿された原稿の修正は、新聞社では一切行いません。修正データの再入稿をお願いいたします。

なお、広告主の都合やその他の不可抗力による緊急の追加・修正を考慮し、修正機関を設けております。
修正作業につきましては、別途有料にてご利用いただくことも可能です。

詳しくは地域ビジネス局営業部までおたずねください。

［2］データの制作から入稿までの流れ　●入稿締め切りについて

本紙（朝・セレクト）

●モノクロ
掲載日2日前 正午

●カラー
掲載日2日前 正午

●単色　※4色分解（CMYK）データにて入稿してください。
掲載日2日前 正午

●2連版
掲載日2日前 正午

※フィルム・印画紙入稿は2011年12月をもって終了致しました。

アシタノ

●カラーのみ　※祝日の関係で締め切り日を早めさせていただく場合があります。
発行日の前週金曜日 正午

その他別刷り

●モノクロ・カラー・2連版・単色　※単色は4色分解（CMYK）データにて入稿してください。
随時、地域ビジネス局営業部までご相談ください

○締め切り日は掲載日及び印刷日から算出しております。
○締め切り日はいずれも**土、日、祝日を除きます。**
○大型連休・年末年始等の長期連休の前には、入稿締め切りを別途ご連絡させていただきます。

［3］デジタル入稿運用規約　●データ修正・管理

データ修正

●デジタル入稿された原稿データの**訂正、象嵌（ぞうがん）修正は、新聞社では行いません。**
改稿が発生した場合は、データを修正して再度データをお持ちください。

●完全原稿としての入稿に限ります

入稿データに不備があった場合に備え、その広告の制作者がすぐに対応できるようにしておいてください。
入稿された原稿の修正は、新聞社では一切行いません。
掲載データの修正後、再入稿をお願いいたします。

●広告主の都合やその他の不可抗力による緊急の追加・修正を考慮し、修正機関を設けております。
修正作業につきましては、別途有料にてご利用いただくことも可能です。

※緊急の場合、詳細については、地域ビジネス局営業部までおたずねください。

データ管理

●デジタル入稿された原稿データ（実データ）の**在版管理は、新聞社では行いません。**
●同一原稿掲載の場合でも、掲載ごとに再度データ入稿をお願いします。

※初回掲載のデータ入稿時に同一月内で複数の掲載日が決定している広告の場合、初回データ入稿のみで結構です。
ただし、掲載日ごとに念校ゲラをご用意ください。

●月極（フリー）広告については、初回の入稿のみで構いません。
※月極（フリー）広告の場合、掲載日は**掲載可能な期間**を念校ゲラに明記してください。

●デジタル入稿された原稿データのメディアは、掲載日以降に返却いたします。

［4］トラブルのないデータ制作、デジタル入稿を行うための必須１２原則

１．ＯＳ
●MacOS9.2～MacOSX

２．使用アプリケーション
●Illustrator8.0.1J～CS4、Photoshop5.5J～CC
IllustratorCS5以上は原則N-PDF入稿（一部例外あり）
N-PDFについてはN-PDF入稿ガイドブックをご参照ください。

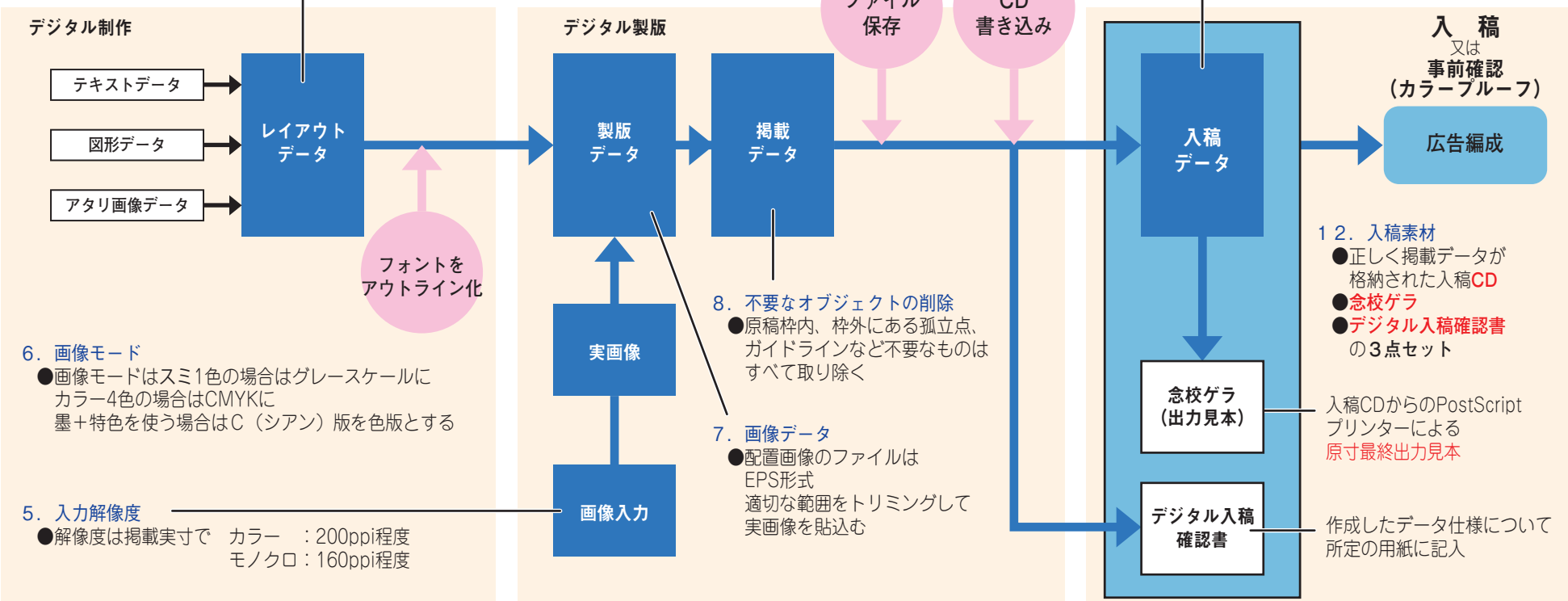
３．使用フォント
●PostScriptフォントで制作しアウトライン化すること

４．文字や図形の色設定
●スミ1色の場合はグレースケール
カラー4色の場合はCMYK
単色広告　※4色分解（CMYK）データにて入稿してください。
※RGB厳禁

１０．ファイル名
●ファイル名規約を厳守
●使用可能な文字は、全角漢字、ひらがな、カタカナ、半角英数字のみ
●第３者から見ても内容がわかりやすい簡潔なもの
●ファイル名の最後に必ず拡張子「.eps」をつける

９．ファイル形式
●掲載データは
配置画像を含むEPS形式の
1ファイルで保存

１１．入稿メディア
●1枚のCDには、１組のファイル（広告データ）
●規定の掲載事項を明記したラベルを貼る
●入稿するCDは必ずウィルスチェックをする



６．画像モード
●画像モードはスミ1色の場合はグレースケールに
カラー4色の場合はCMYKに
墨＋特色を使う場合はC（シアン）版を色版とする

５．入力解像度
●解像度は掲載実寸で　カラー　：200ppi程度
モノクロ：160ppi程度

８．不要なオブジェクトの削除
●原稿枠内、枠外にある孤立点、
ガイドラインなど不要なものは
すべて取り除く

７．画像データ
●配置画像のファイルは
EPS形式
適切な範囲をトリミングして
実画像を貼込む

１２．入稿素材
●正しく掲載データが
格納された入稿CD
●念校ゲラ
●デジタル入稿確認書
の３点セット

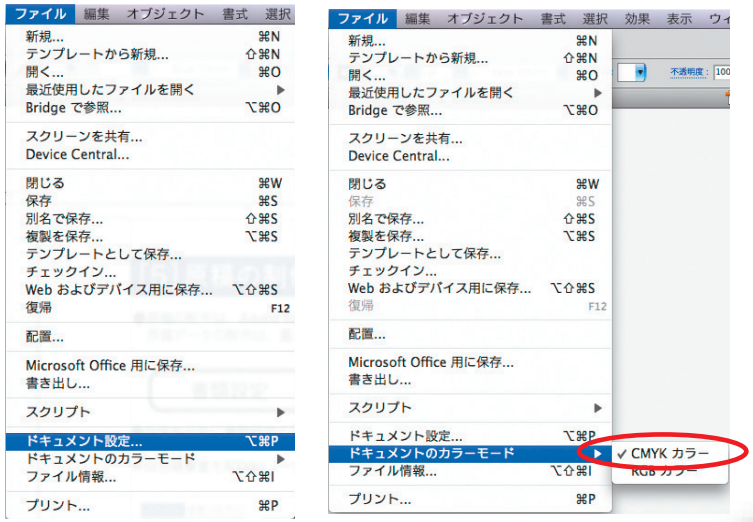
入稿CDからのPostScript
プリンターによる
原寸最終出力見本

作成したデータ仕様について
所定の用紙に記入

［5］原稿の制作　●Illustrator（1）

●原稿の制作は、Adobe Illustrator8.0.1J～CS4、Adobe Photoshop5.5J～CC を使用してください。
原稿データの制作は、最後まで同一バージョンで行ってください。
CS5以上は原則N-PDF入稿でお願いします。
N-PDFについてはN-PDF入稿ガイドブックをご参照ください。

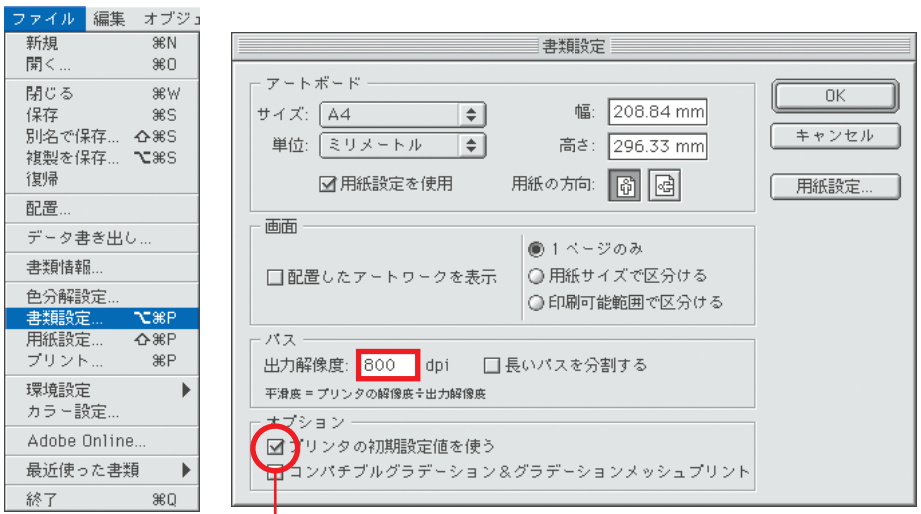
●CS以上の場合は**書類設定**ではなく**ドキュメント設定**となっています。
基本デフォルトのままで、OKです。
ドキュメントのカラーモードは必ず**CMYKカラー**にしてください。



書類設定

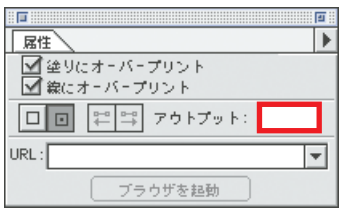
●原稿制作前に**書類設定**の確認を行ってください。

※**出力解像度**を**800dpi（～1200dpi）**に設定してください。



［**プリンタの初期設定値を使う**］にチェックを入れる

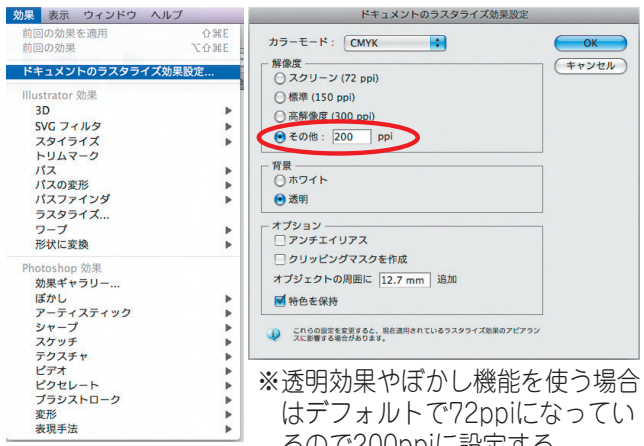
Illustrator 8.0.1J



属性パレット

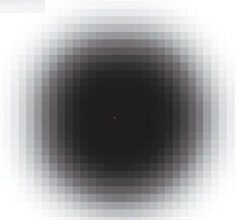
※Illustrator 8.0.1Jでは、各オブジェクトの出力解像度は**属性パレット**の**アウトプット**で確認できます。

●ドキュメントのラスタライズ設定

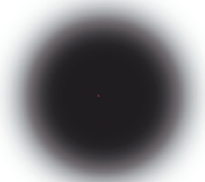


※透明効果やぼかし機能を使う場合はデフォルトで72ppiになっているので200ppiに設定する。

IllustratorCS4



72ppi　ぼけ足が荒い

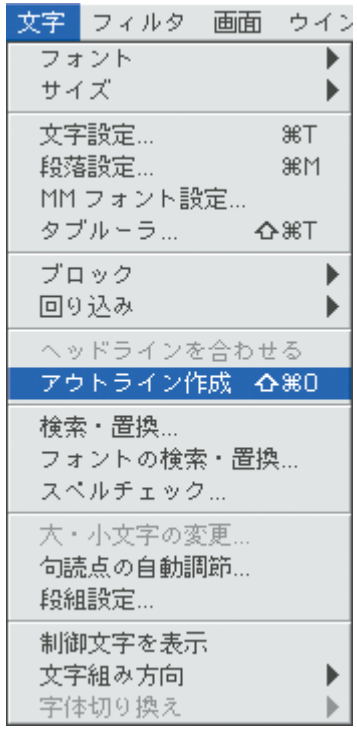


200ppi　ぼけ足がなめらかになっている

［5］原稿の制作　●Illustrator（2）

アウトライン作成

●原稿データ上のフォントは**必ず全てアウトライン化**を行ってください。
　アウトライン化を行っていないフォントは文字化けを起こします。
※アウトライン化することにより**オブジェクト**になります。



Illustrator 8.0.1J

Illustrator CS4

画像のリンク

●画像の配置を行う場合は［**リンク**］にチェックを入れてください。

※画像の埋め込みでエラーが出ることはありませんが、画像修正がある場合、
　イラストレータから画像データを１点１点抜き出し、画像修正後さらに
　イラストレータに再配置しなければならないので、できるだけリンク配
　置でお願いします。

［**リンク**］にチェックを入れる
Illustrator CS4

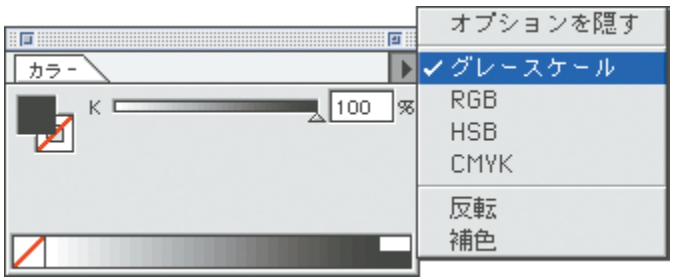
※テキストが未入力のアンカーポイント（フォント）が**孤立点として認識される**ので注意が必要です。
　フォントの孤立点を必ず削除してください。
※**４ポイント以下の文字**は使用しないでください。
※白抜き明朝体文字は**８ポイント以上の文字**を使用してください。
※**念校ゲラはCDにコピーしたデータ（アウトライン化済み）**から出力してください。

［5］原稿の制作 ●Illustrator（3）

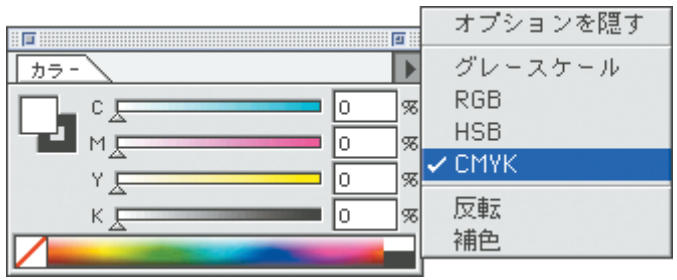
色指定

●モノクロ広告の場合は**グレースケール**。カラー広告の場合は**CMYK**を使用してください。それ以外のカラーモードは使用しないでください。
※**スポットカラー**は使用しないでください。
●単色原稿　※4色分解（CMYK）データにて入稿してください。

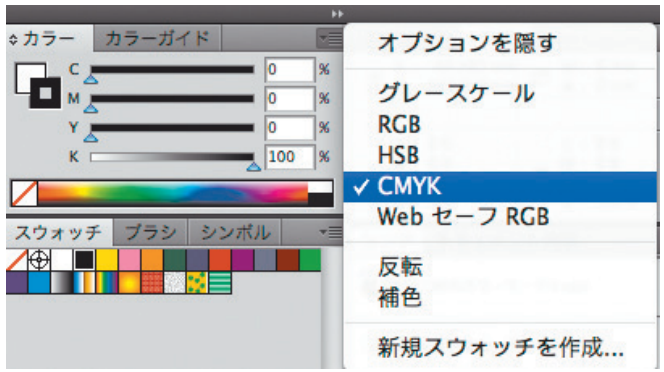
モノクロ：グレースケールモード



カラー：CMYKモード
※RGBは厳禁



Illustrator 8.0.1J



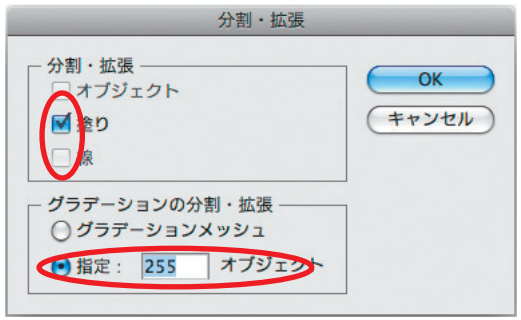
Illustrator CS4

［5］原稿の制作　●Illustrator（4）

グラデーション・パターン・ブラシ

●グラデーション、パターン、ブラシ、ブレンドで描画されたものは**出力エラー**を起こす可能性があります。［**分割・拡張**］で全てオブジェクトに変換してください。
※［**分割・拡張**］は全てを選択した状態で使用しないでください。
必要なオブジェクトのみ選択し［**分割・拡張**］を使用してください。

※スウォッチ、ブラシパターンは
パレットから削除してください。



Illustrator CS4

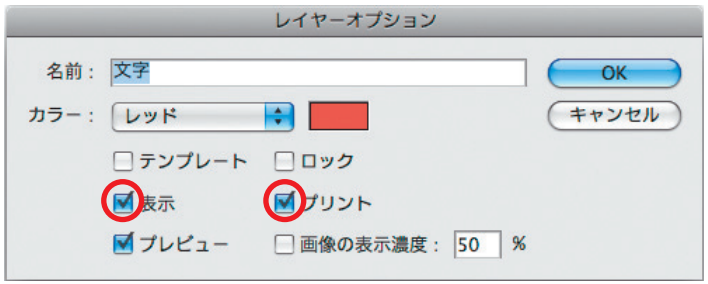
※グラデーションに関する注意
Illustratorのグラデーションツールで作成すると長さや階調差によって**トーンジャンプ**が発生する恐れがあります。
Photoshopグラデーションツールで作成すると適切な解像度であればトーンジャンプは起きにくくなります。

（正常）

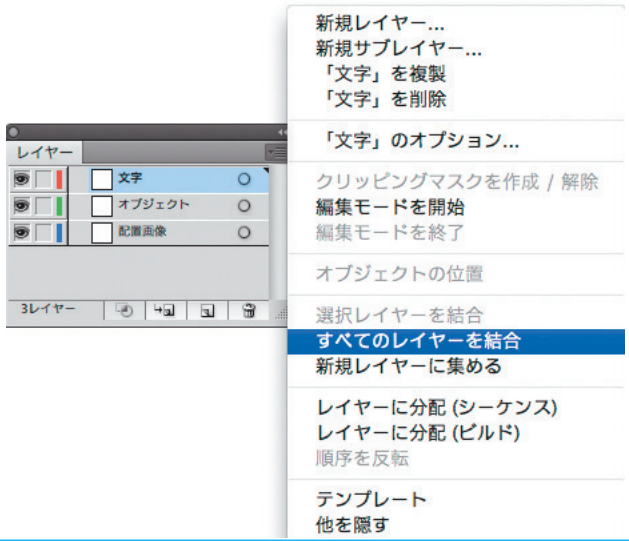
トーンジャンプの例

レイヤー

●レイヤーオプションの**表示**と**プリント**には、必ずチェックを入れてください。
出力エラーの原因となります。
複数のレイヤーは**必ず結合**してください。



Illustrator CS4



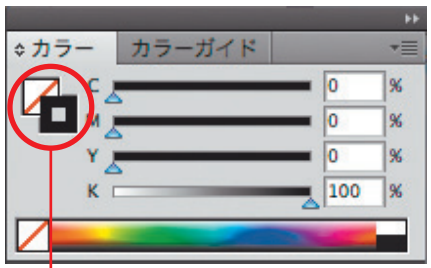
［5］原稿の制作　●Illustrator（5）

ケイ（罫）

●広告ケイが不要な場合
カラーパレットの**塗りと線をナシに設定**し、透明な矩形で広告サイズを設定してください。
中国新聞社のシステムは、その透明な矩形を**掲載サイズ**として読み込みます。

［塗り］［線］ナシに設定

●広告ケイが必要な場合
カラーパレットの**塗りをナシ、線をアリに設定**し、矩形で広告サイズを設定してください。
中国新聞社のシステムは、その矩形を**掲載サイズ**として読み込みます。
ただし、**線幅が太い場合**、注意が必要となります。

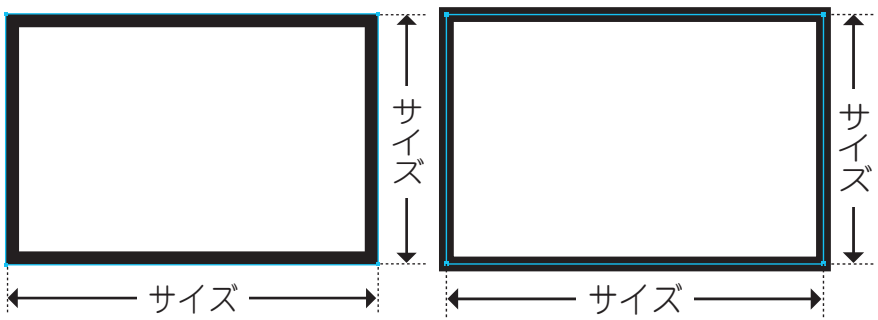


［塗り］ナシ［線］アリに設定
Illustrator CS4

※ケイ線作成の注意（1）
Illustratorで細い罫線を書く場合は、必ず線幅を指定してください。
線幅の指定がなく、塗りの指定があるものは、低解像度のプリンタで確認できても、印刷できない場合があります。
罫線に限らず線幅は、**0.25ポイント以上**を推奨します。

Illustrator CS4

※ケイ線作成の注意（2）
原稿サイズの広告ケイを通常の線幅指定で太くすると、雑報広告など小さい広告では、ロゴなどに**変形が生じる原因**になります。
線の位置の所を**線を内側に揃える**にする。



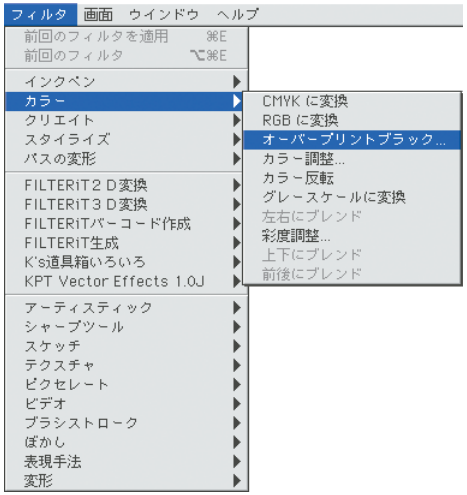
＜良い例＞
罫線の外側のサイズが原稿サイズとなる

＜悪い例＞
罫線センターから外側に出た部分が原稿サイズよりも大きくなる

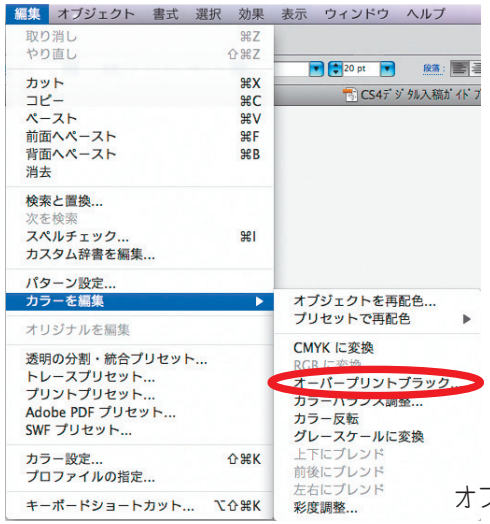
［5］原稿の制作 ●Illustrator（6）

オーバープリント

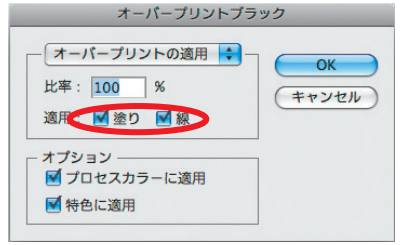
●オーバープリントブラックを設定する場合
メニューバーの［**フィルタ**］↓［**カラー**］→［**オーバープリントブラック**］を選択し、ウインドウの『**塗り**』もしくは『**線**』にチェックを入れてください。
カラー上に墨文字を入れる場合は属性［**属性**］パレットの『**塗りにオーバープリント**』、もしくは『**線にオーバープリント**』にチェックを入れてください。

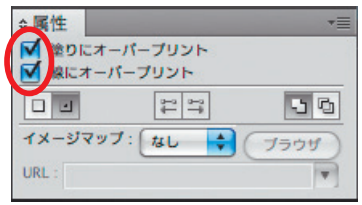


Illustrator 8.0.1J



Illustrator CS4





オブジェクト個々に設定（解除）する場合

※注　ver8.0の時はオブジェクトを選ばずに**オーバープリントブラック**の設定ができましたが、**CS1**以上のバージョンは対象の**オブジェクト**を選ばないと設定できません。

オブジェクト個々に設定（解除）する場合

ノセとヌキ
◇ノセは下のオブジェクトの色と上のオブジェクトの色が掛け合わされる。
（下の地色が上のオブジェクトで切り抜かれない）
◇ヌキは上の色だけが生きる。
（下の地色が上のオブジェクトで切り抜かれる）

※**CS2**以上でオーバープリントの機能を使うよりは、乗算を使う方をおすすめします。

※**K100%（スミベタ）**以外でカラーのオブジェクトに対するオーバープリントは設定しないでください。
下にあるオブジェクトの色と掛け合わされ（ノセの状態）予想外の色になる場合があります。

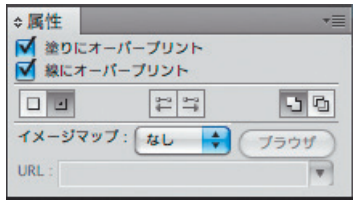
［5］原稿の制作　●Illustrator（7）

白オブジェクトノセ

●**白オブジェクト、色オブジェクトノセ**について
K100%（スミベタ）以外のオブジェクトに**オーバープリント**の設定をすると、下地の色に乗って違う色になったり、特に**ベタ白抜き**の場合は**消えて**しまいます。
スミベタ以外のオブジェクトに**オーバープリント**の設定をしないでください。

画面上　→　掲載後

あいうえおかきくけこ



注意　白の**オブジェクト**に**オーバープリント**の**チェック**を入れると**警告**が出るのですが、**オーバープリントのチェック**が入った黒**オブジェクト**を白に指定しても**警告**が出ません。
ロゴマークなど別の**データ**から**流用**する時などは（特にカラーデータ）**注意**が必要です。

●画面上でオーバープリントの有無を確認するためには**表示→オーバープリントプレビュー**にチェックを入れると画面で確認することができます。

画面上　→　掲載後

●オーバープリントプレビュー時

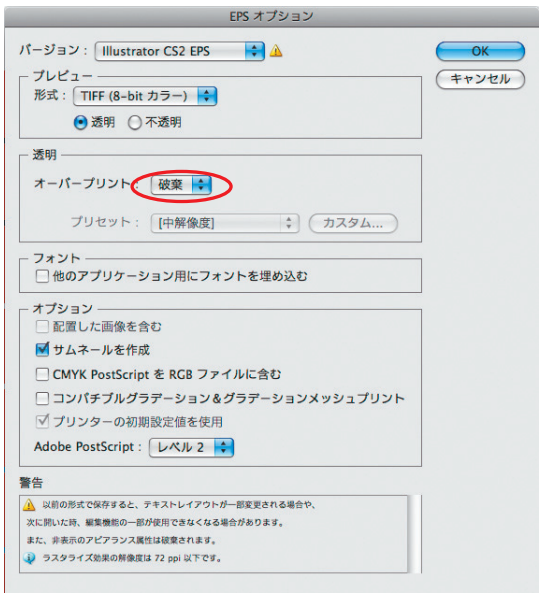
画面上　→　掲載後

あいうえおかきくけこ

●オーバープリントプレビューにチェックが入っていない場合

注意　弊社**PSチェッカー**のバージョンアップにより、CS4までの白オブジェクトのせはエラーとして検出することができます。
CS5を使用した場合は検出できません。（下位バージョン保存をした場合もできません）特に注意をしてください。
やむを得ずCS5以上のバージョンを使用する場合は、掲載事故防止のため右記の様にEPS保存時にオーバープリント破棄をお願いします。

モノクロ原稿や**オーバプリント機能**を**使用しない**カラー原稿（CS5使用時も含む）は**EPS保存時**に**オーバープリント**を**破棄**にすると、気づかないまま使用しても**オーバープリント**の機能が**無効**になります。（使用していなかったら選ぶことはできません。）

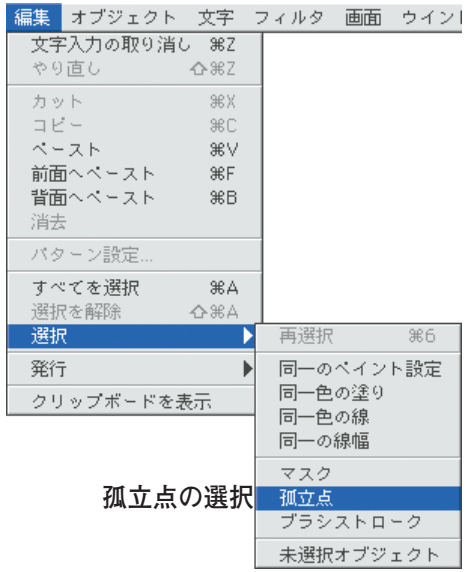


［5］原稿の制作 ●Illustrator（8）

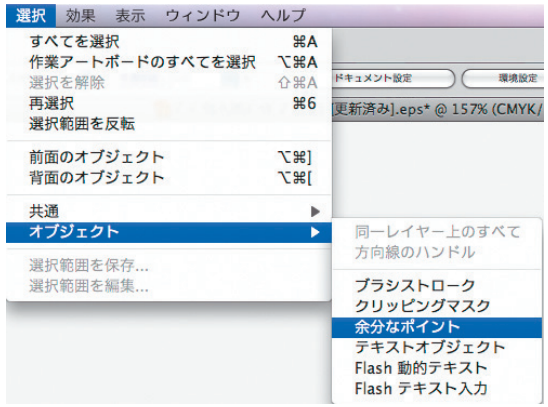
不要オブジェクト

●**不要オブジェクトの処理について**
広告ケイの外側に不要なオブジェクト・文字、孤立点（不要なアンカーポイント）があると、出力（掲載）時に**不要オブジェクトを含んだ範囲が掲載されます。**
不要オブジェクト、アンカーポイントは、**必ず全て取り除いてください。**

アートワークモード



孤立点の選択



Illustrator CS4

・**アートワークモード**に切り換えて、画面をズームアウトしていくと孤立点の確認が容易です。
・**ガイドライン**、**透明なオブジェクト**も認識されるので、最後に必ず削除してください。
・**孤立点**も同様に削除してください。
・出力しない**レイヤー**、広告原稿に含まれない**注釈**なども入れないようにしてください。
・写真を**トリミングする場合**、配置画像を白いボックスで隠さず、必ず**マスク**処理をしてください。
・**トンボ**や**トリムマーク**は原稿サイズとして処理されてしまうため使用しないでください。

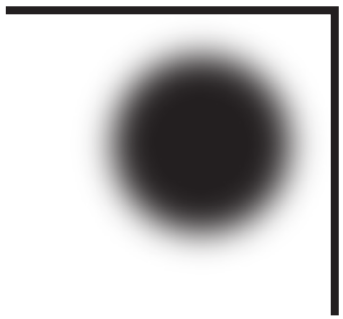
※テキストが未入力のアンカーポイント（フォント）が**孤立点として認識される**ので注意が必要です。
フォントの孤立点を必ず削除してください。

［5］原稿の制作 ●Illustrator（9）

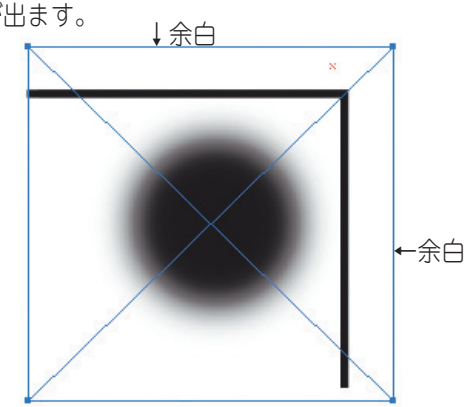
ぼかし・透明効果

●ぼかし・透明効果について
イラストレータCS1より、**ぼかし・透明効果・ドロップシャドー**など**特殊効果**が容易に使用できるようになりました。
（**イラストレータ9.0**及び**10.0**は画像が**リンク配置**のときには**有効**にならない）
イラストレータCS4までの**効果**は**使用**できます。（CS5の効果は検証できておりません。）

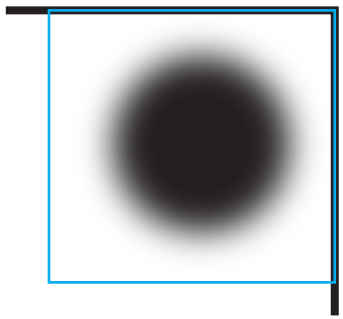
※**注意１**　原稿の端の近くで**ぼかし効果**を使用する場合は、**サイズエラー**に注意する。
ぼかし効果は見た目よりも外側に**影響**が出ます。



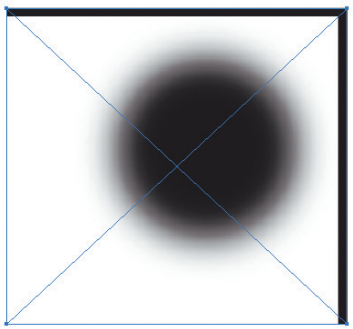
↑見た目は外罫の外にはみ出てないように見えるが



↑EPS保存をすると外罫の外に余白ができ
サイズエラーとなる



このような時はぼかしに対してマスク処理をする



↑余白無し

※**余白**の**確認方法**は**EPS保存**をした**台紙データ**を新規で開いたイラストレータにリンクで配置をすると、**サイズエラー**の確認ができます。

※**注意２**　画像に対して**ドロップシャドウ**などの**透明効果**を使う時は**UCRオーバー**のエラーに注意をする。

この辺りを250％に調節しても

かげの色と画像が重ねって**UCRオーバー**のエラーになる事があるので、**透明効果**などを画像の上に使用する場合は、元の画像の**UCR調整**を**低め**にする必要がある。

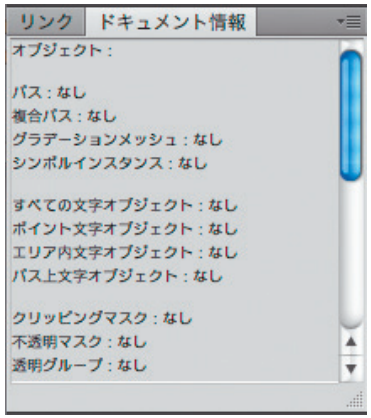
※**画像**と**透明効果など**の合わせた網％を調べる為にはEPS保存された台紙データをPhotoshopでラスタライズをかけて開けば確認できます。

［5］原稿の制作　●Illustrator（１０）

IllustratorEPS保存

●ファイル情報の確認

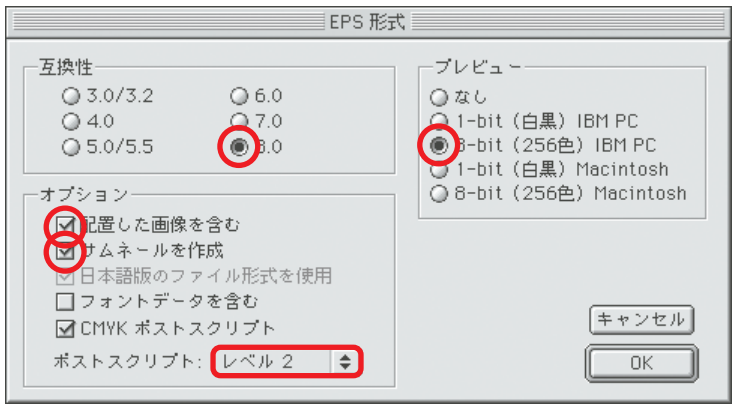
データ制作が完了したら　フォント、色の指定、画像などに間違いがないか確認してください。
Illustrator 8.0.1J：『書類情報』（ファイル↓書類情報）
Illustrator CS4：『ドキュメント情報ウィンドウ』（CS以上はオブジェクトを選択後）
（ウィンドウ→ドキュメント情報）



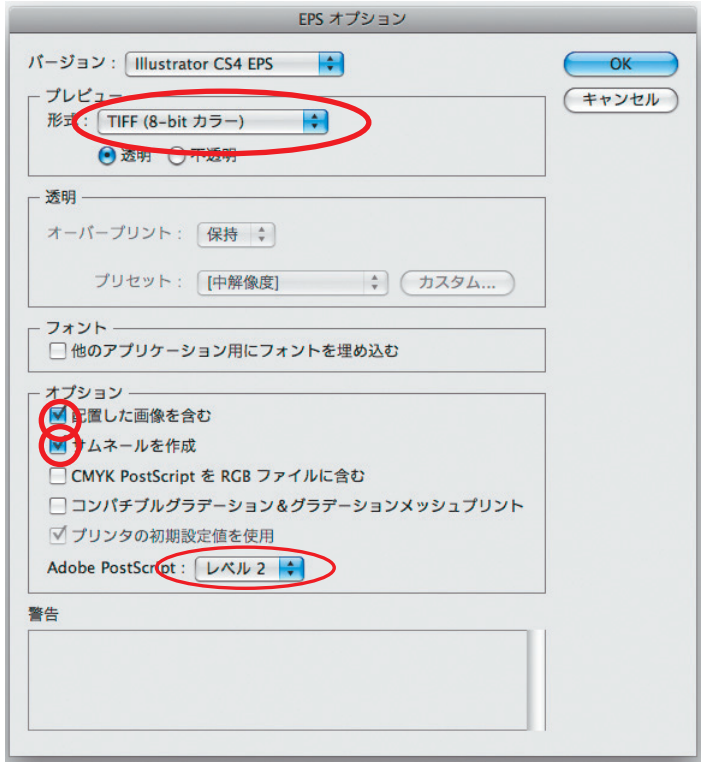
●ファイル名
広告会社などに確認の上、ファイル名規約（P17）に従ってつけてください。

●EPSファイルでの保存
掲載データの保存は、Illustrator EPSを指定してください。

●EPS形式の各指定項目　○印を確認してください。
互換性　：制作バージョンと同一バージョンを指定してください。
下位バージョンでの保存は、出力エラーの原因となります。
プレビュー：ＩＢＭ　ＰＣ　を指定【CS4は、TIFF（8-bitカラー）】
配置した画像を含む、サムネイル作成　をチェック



Illustrator 8.0.1J



Illustrator CS4

※ポストスクリプトについては、レベル３機能を使用している場合、レベル３を選択してください。

［5］原稿の制作　●Illustrator（１１）

ファイル名規約

●掲載データ（IllustratorEPS）のファイル名は、規約にしたがってつけてください。
掲載日、版など、指定が誤っていると掲載ミスの原因となります。
広告主名は、第三者から見ても内容がわかりやすい簡潔なものとしてください。
同一広告主で、複数サイズのデータを入稿する場合は、可能な限り**広告主名とサイズが判別しやすいファイル名**をつけてください。

ファイル名に使用できる文字は、**全角漢字・ひらがな・カタカナ・半角英数字**のみ。　**※スラッシュ“/”、および半角カタカナは使用不可**

ファイル名の長さ：**31バイト以内**（拡張子含む）としてください。　※全角１文字＝２バイト
ファイル名の最後には必ず**拡張子「.eps」**をつけてください。

●掲載データ（IllustratorEPS）の**ファイルサイズは200MB以下**としてください。

ファイル名規約

掲載日 （半角数字４桁）	刊　名 （全角１文字分）	版　名 （全角１文字）	掲載区分 （全角１文字）	モード （半角英数２桁）	広告主名 （14バイト以内）	.拡張子 （半角英字）
（例）0501 （5月1日） ※月極（フリー） 広告は FFFFと指定	朝　刊：朝 セレクト：セ アシタノ：ア ｶｰﾌﾞﾀｲﾑｽﾞ：C その他：他 （別刷りなど）	通し版　：通 西部版　：西 広東版　：C 広島版　：広 東広島版：H 呉　版　：呉 県北版　：北 備後版　：備 岡山版　：岡 山口版　：山 島根版　：島 その他　：他	全　面：全 記事下：下 突　出：突 記事中：中 題字下：題 記事挟：挟 ２連版：連 その他：変 （変形）	カラー　：４C モノクロ：MN 単　色　：１C	●●●●●●● 00000000000000 ※上段：全角の場合 ※下段：半角の場合	.eps

※セレクトの版名は通し版

※ファイル名の例

0110朝通下4Cトヨタ.eps　1205朝広下MN日産.eps　0501セ通下4C中国5d.eps　FFFF朝備下MN中国5d.eps　FFFF朝備下MN中国3d.eps　など

［5］原稿の制作　写真処理の流れ　●Photoshop（1）

画像の取り込み

●印刷物を原稿にすることはモアレなどが発生しやすく、おすすめできません。写真原稿を入力する場合の解像度設定は原寸使用でスクリーン線数の倍が適当です。カラーの場合220dpi程度の画像を配置してください。2倍に拡大して使用する場合は、スキャナー入力解像度も2倍に設定してください。

※写真原稿をスキャニングする際は新聞印刷のノウハウを持った製版会社などにスキャニングを依頼するのが望ましいと思われます。市販のカラースキャナーなどでスキャニングされる前にぜひ一度ご検討ください。

Photoshopでの画像処理

●RGBモードの原稿を処理するための大まかな手順をあげます。PhotoshopのRGBやLabモードで画像処理を行い、CMYK変換して微調整後に保存してください。

［1］ハイライト点、シャドー点の設定……**イメージ↓色調補正→レベル補正**

［2］グレーバランスの確認、調整……**イメージ↓色調補正→トーンカーブ**

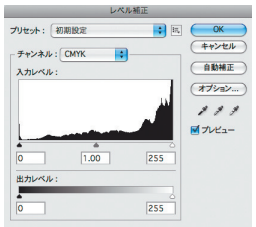
［3］トーンカーブ調整……**イメージ↓色調補正→トーンカーブ**

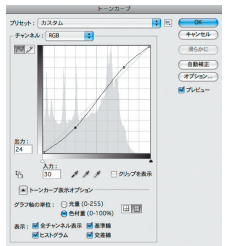
［4］特定色域調整……**イメージ↓色調補正→特定色域の選択**

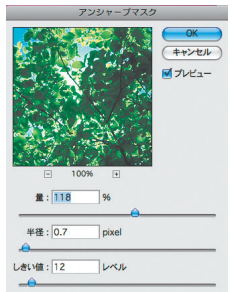
［5］CMYKへ変換……**イメージ↓モード→CMYKカラー、微調整**

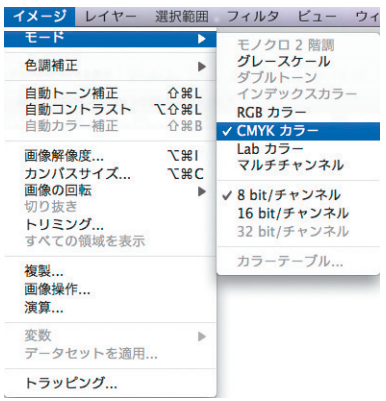
［6］シャープネス（輪郭強調）調整……**フィルタ↓シャープ→アンシャープマスク**
（100％表示で行ってください）

※その他　色カブリ補正などは任意で行ってください。









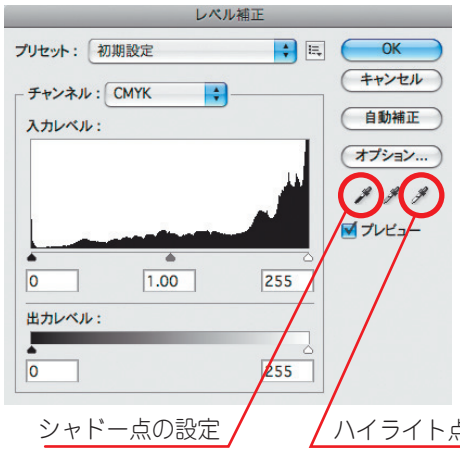
［5］原稿の制作　新聞印刷と商業印刷の違い　●Photoshop（2）

インキ濃度

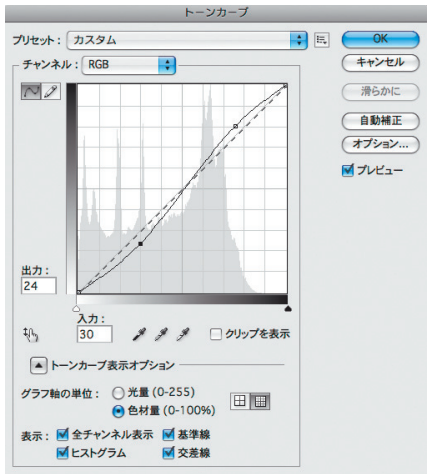
●新聞印刷ではインキ量（インキ皮膜）の増減で画像の濃淡を表現するのではなく、インキ量は一定にして網点の大小で表現します。紙面濃度はインキ量で決まりますが、新聞輪転機は高速印刷のため、再現できる濃度範囲は平台校正機や商業印刷と比べて狭くなります。その影響で、紙面と平台校正ゲラの色あいが違ってきます。

●画像処理で対応

広い濃度域の原稿に対して狭い濃度範囲しかもたない新聞印刷で、いかに調子のある写真にするかが、画像処理のポイントとなります。レベル補正やトーンカーブの設定で行います。中間調を若干明るくする処理が基本になります。個々の写真に対して、特に重要な濃度域にトーンカーブなどで調子を持たせる場合もあります。右の図と写真は中間調に調子を持たせるため、S字カーブで処理した一例です。また、左の図と写真はハイライト・シャドーの設定で不要な範囲を切り捨て、再現しようとする原稿の範囲を狭めることで調子のある写真にした一例です。掲載サイズにより度合いは違ってきますがハイライト部では、どこまで飛ばせるかを判断して、最も明るい部分より少し高いポイントで設定します。シャドー部でも同様に、どこまでベタにできるかを判断して、最も暗い部分より少し低いポイントでシャドー点を設定します。その結果、調子の良い写真となりました。



※この画面はあくまで例であり原稿ごとに処理が違ってきます



ハイライト・シャドー点 設定前

ハイライト・シャドー点 設定後

S字カーブ 適用前

S字カーブ 適用後

［5］原稿の制作　新聞印刷と商業印刷の違い　●Photoshop（3）

ドットゲイン

●原稿の網点より印刷物の網点が太る現象を「ドットゲイン」といいます。新聞印刷では版からブランケットに転写するときの印圧によって網点が太ります。新聞輪転機ではドットゲインが中間部分で約20％あり、一般の商業印刷や平台校正機に比べ網点の太りが大きくなります。
新聞印刷のドットゲインが大きい理由としては、新聞インキの粘度が低く、用紙に浸透させて乾燥する「浸透乾燥」などもあげられます。

新聞印刷の網点

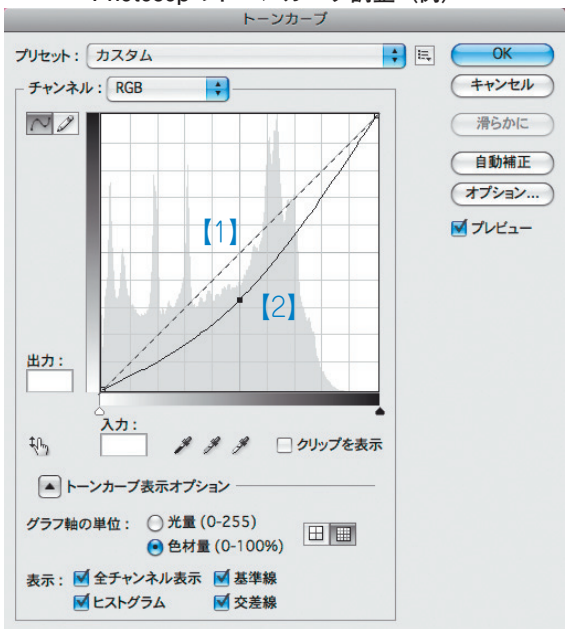
平台校正刷りの網点

●ドットゲインによる紙面への影響
写真では調子が暗くなり、色が濁ったりします。イラストなどでは網点の大きさで色の濃度を表現するため、1色がベタ、1色が網50％の2次色などで網のある一方の色だけがドットゲインで濃くなり、色あいが違ってきます。

●画像処理で対応
トーンカーブで元画像（原稿）を新聞印刷に適した明るさ（階調）の画像に調整してください。調整量は各色網％数値を確認しながら決定することが基本です。モニター画面で決める場合はモニターの明るさで違いはありますが、基本的に見た目以上に明るく調整した方が新聞印刷ではうまくいきます。また、元画像（原稿）の調子もまちまちでそれに応じたトーンカーブ調整も必要です。

自然な写真に仕上げるためにはグレーバランスが大切です。新聞印刷のプロセスインキは他の色成分を含んでいるのでCMY色が等量だと赤みのあるグレーとなります。ハイライト部やシャドー部でCMY色のバランスを情報パレットで確認し、調整してください。シャドー部ではC70%、M60%、Y60%、K60%程度が良好なグレーバランスとなります。イラストなどの色あいは弊社のCMSから出力したカラーパッチなどを参考にして網％を決めることも一つの方法です。

Photosopのトーンカーブ調整（例）



※この画面はあくまで例であり原稿ごとに処理が違ってきます

【1】トーンカーブ 修正前

【2】トーンカーブ 修正後

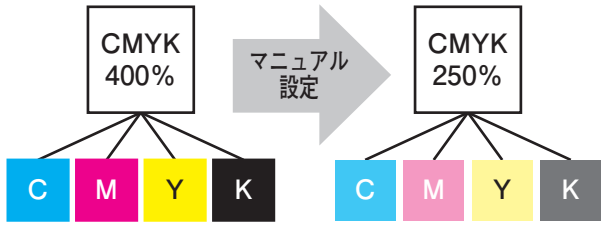
［5］原稿の制作　新聞印刷と商業印刷の違い　●Photoshop（4）

インキ総量

●カラーでは4色のインキが刷り重ねられることをトラッピングといいますが、インキの総量（網％）が多くなると転移が悪くなり、良好なトラッピングが得られなくなり、色再現に影響します。また、余剰インキが対向面や新聞の余白部分、裏写りをおこし紙面を汚したりします。商業印刷のインキ総量は300％を超えていますが新聞印刷では250％に制限しています。

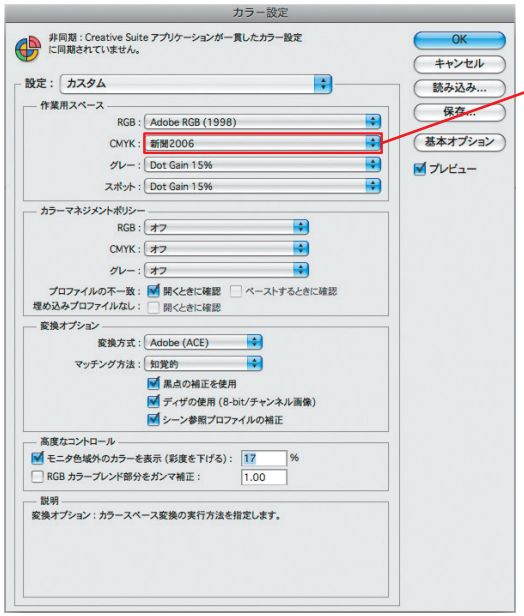
●UCRとはトラッピング不良を抑え、グレー再現を安定させたり、過度のインキが対向面を汚すことを防止するため、CMY色が重なっているグレー部分を墨インキに置き換えることです。

●網点面積率
TAC（Total Area Coverage）…インキの総使用量

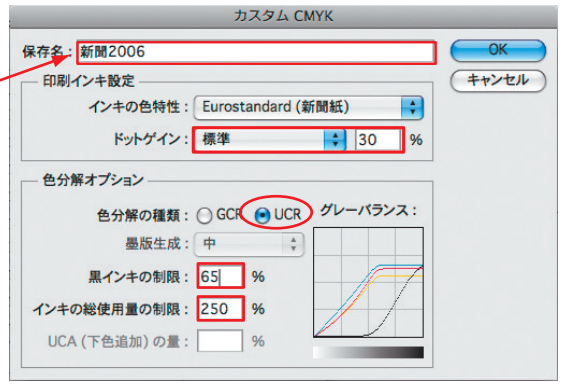


●画像処理の前にあらかじめカラー設定しておくことで対応
UCR設定はカラー設定の作業用スペース（CMYK）で行います。カスタムウインドウの色分解オプションを参考にして「インキの総使用量」を250%に、「黒インキの制限」を65%程度にしてください。設定後はCMYKに変換するだけで250%（インキ総量）に設定できます。
※インキ総量を調整する必要がある場合はシャドー部のグレーバランスに注意してください。

［Photosop6.0，7.0，CS4］編集↓カラー設定



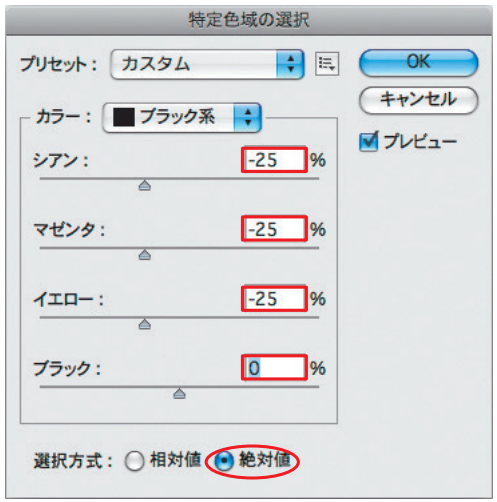
PhotosopCS4



※作業用スペースのCMYK変換は
上記の設定をおすすめします

当カラー設定でCMYK変換した時元の画像と色が大きく変わった場合は、デフォルトのカラー設定に戻し、CMYK変換後、特定色域の選択で、UCRを調整してください。

※すでにCMYK画像でUCRオーバーになっている場合は
特定色域の選択→ブラック系を使って調整してください。



グレーバランスを崩さない様、CMYを同量ずつマイナス方向に調整し、K版は減らさない。

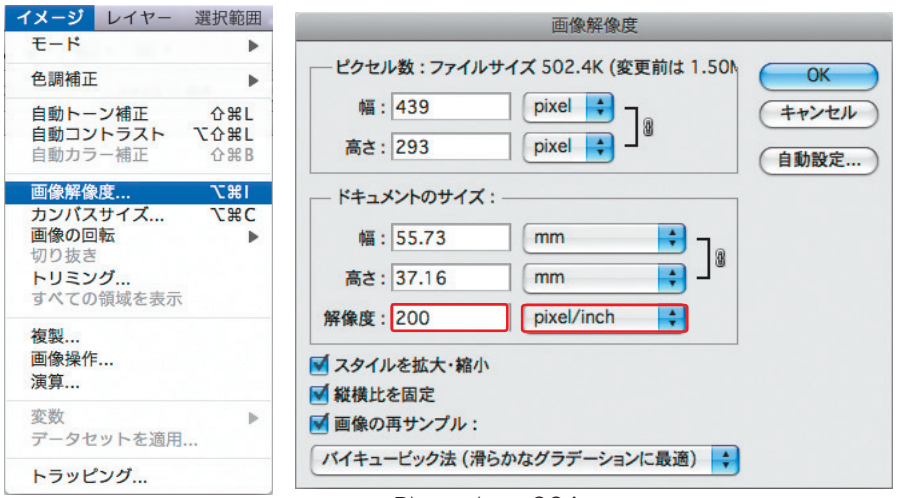
［5］原稿の制作　●Photoshop（5）

画像解像度

●画像は掲載サイズの**実寸**で**解像度**が**200ppi程度**の画像データを配置してください。

推奨画像解像度は　カ ラ ー　（4色）画像：165～220ppi
モ ノ ク ロ （1色）画像：140～185ppi
ビットマップ（2階調）画像：600ppi～1200ppi

※それ以上の解像度は、**データを重くするだけで紙面には反映されません。**



Photoshop CS4

●**画像トリミング、拡大・縮小について**
アタリ画像ではなく**適切にトリミングした実データ（実寸）**を配置してください。
マスクなどで隠れた部分が大きい配置画像はデータを重くします。
画像は掲載サイズの**実寸**で配置してください。
Illustratorに配置後の画像の拡大縮小は、pixel数が保持されるため**解像度エラー**になる場合があります。

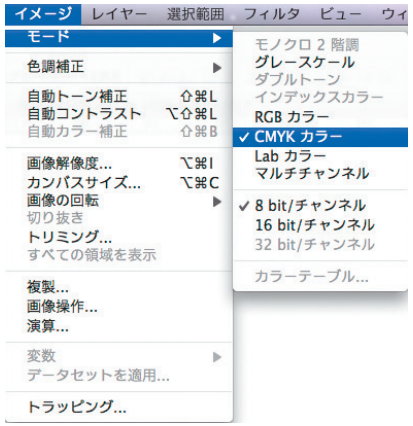
例：画像解像度200ppiのデータを**50%縮小で配置** → 最終（版面）**解像度は400ppi**

※Illustratorで画像を配置後、Photoshopで画像解像度やサイズを調整すると、トリミングや拡縮率が変化する場合があります。Illustratorで一度配置画像を削除し、再配置してください。

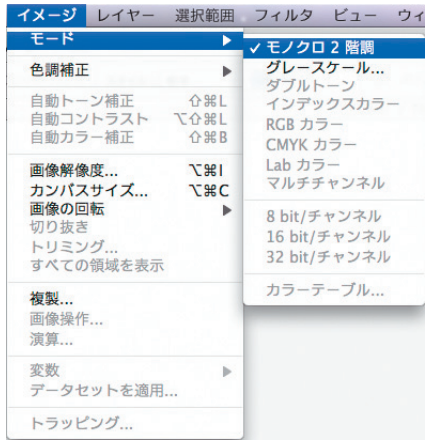
［5］原稿の制作　●Photoshop（6）

イメージモード

●カラーモード（データをCMYKで処理する場合）
CMYKモード　※RGBは厳禁
画像解像度　165〜220ppi



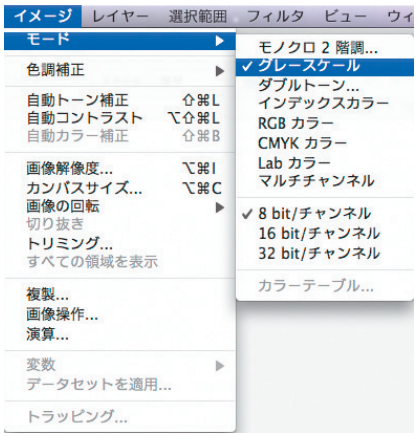
●モノクロ２階調モード（ロゴを貼り込む場合）
画像解像度　600〜1200ppi



Photoshop 5.0.2J

Photoshop CS4

●グレースケールモード（データをモノクロで処理する場合）
画像解像度　140〜185ppi



※モノクロで階調のあるロゴやカラーのロゴはIllustratorでトレースした**アウトラインデータ**（Illustrator EPS）を使用してください。

※モノクロ２階調の場合はビットマップデータでも構いません。
必ず**原寸**、または**縮小**を使用してください。

※背景を生かしたい場合は、EPSファイル保存時に**“白部分を透明として扱う”**にチェックを入れてください。

※エンコーディングは**Photoshop7.0**以下は**バイナリ**、**CS**以上は**ASCII85**

［5］原稿の制作　●Photoshop（7）

ICCプロファイル

●Photoshop5.0.2Jから**ICCプロファイル**の埋め込みが可能となりましたが対応しておりません。
外部とデータをやり取りする際にプロファイルが埋め込まれないよう、**プロファイル設定**（カラー設定）を行ってください。

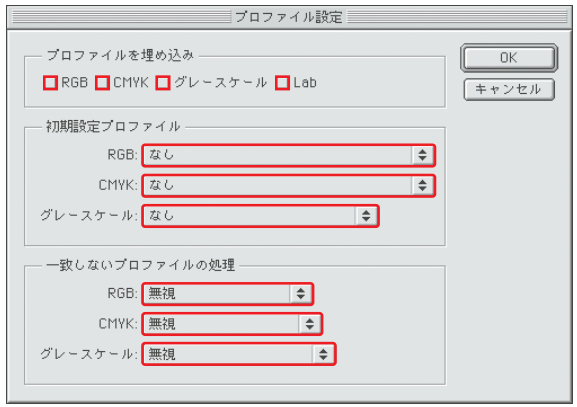
※ファイルを開いた際「プロファイルの不一致」ダイアログが表示されたら「ドキュメントのカラーを作業スペースに変換」を選択することを推奨します。

●ファイル↓カラー設定→プロファイル設定

・プロファイルを埋め込み
　RGB、CMYK、グレースケール、Lab　全ての**チェックを外す**

・初期設定プロファイル
　RGB、CMYK、グレースケール　全て［**なし**］に設定

・一致しないプロファイルの処理
　RGB、CMYK、グレースケール　全て［**無視**］に設定



Photoshop 5.0.2J

●プロファイル設定について

カラープロファイル、正式にはICC（International Color Consortium：国際カラー協会）プロファイルは色の補正情報を含んだファイルです。

例えばシアンを５％濃くプリントしてしまうプリンタがあったとします。このプリンタでC50％のデータをそのまま正しく出力したい場合、C50％のデータに「Cを５％薄くする」という補正情報を含ませて送れば、プリンタの色の狂いによって５％濃くなり、結局正しい色が出力されることになります。

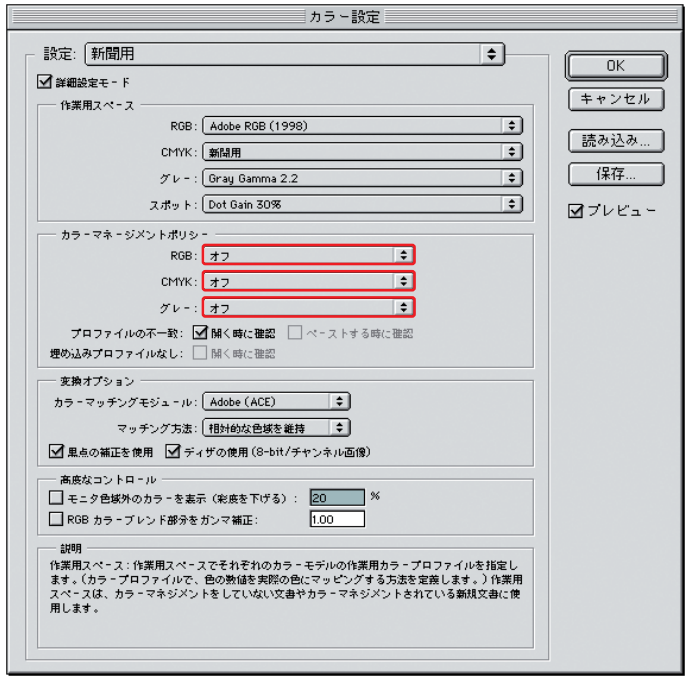
このカラープロファイルの対象となるのはプリンタだけではなく、モニタ用、スキャナ用のプロファイルもあります。これらをすべて正しく使用することによって、入力から出力まで一貫した色環境で作業することが可能になります。

ただし、当然のことながら特定の機器に対する正しいプロファイルを使わなければ何の意味もありません。カラープロファイルの運用は難しく、しっかりと理解と意図がない限り、含むべきではありません。

［5］原稿の制作　●Photoshop（8）

ICCプロファイル

カラー設定



Photoshop 7.0.1J

●Photoshop6.0、7.0　カラー設定

Photoshop6.0ではカラー設定が、CMS（カラーマネージメントシステム＝ColorSyncなど）とICCプロファイルを前面にフィーチャーしました。

Photoshop6.0では5.0や5.5と同様、まずAdobeGammaでモニタの調整を行っておきます。5.5まではこのモニタ設定をPhotoshop本体に反映させることができましたが、6.0からはAdobeGammaは単純にモニタをキャリブレーションするツールとして位置づけられています。

Photoshop本体のカラー設定は6.0からは基本的に用意されている設定メニューから選びます。各項目が設定されます。［作業スペース］欄はICCプロファイルでカラー設定が行われています。RGB→CMYK変換もこのプロファイル設定をもとに行われます。

しかし現実にはプロファイルは流通していませんし、Photoshop6.0のワークフローに切替えると混乱が生じます。

そこで以前の設定もサポートされています。［作業スペース］の［RGB］［CMYK］のメニューをクリックし［CMYK］の読み込みを選べば書き出した旧バージョンの設定を読み込めます。ICCプロファイルベースのワークフローに完全移行するまでは、この方法で対処してください。

［カラーマネージメントポリシー］欄では、受け取った画像データにプロファイルがない場合や自分の設定と異なる場合のプロファイル変換の動作を設定します。自分で最終的な補正を行い、さらにきちんとカラー管理がなされているのであればプロファイル変換をしても構いません。しかし、すでに補正がなされた画像を確認するだけならプロファイルの変換、その後の保存は避けるべきです。

●カラーマネージメントポリシー

キャリブレーションを正しく行っていても、モニタ上に表示した画像の色が正しく表示されないことがあります。その場合は、Photoshop（6.0、7.0）のカラー設定が正しく行われていないと考えられます。

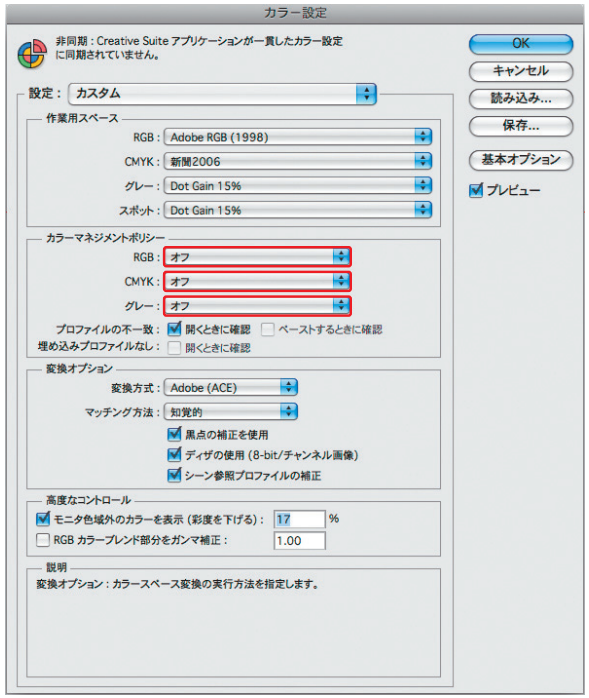
カラー設定は、画像をどのような色空間で表示するかを設定している部分で、正しく設定されていないと、プロファイルが埋め込まれた画像を開いたときに違うプロファイルで表示してしまったり、プロファイルが埋め込まれていない画像をプロファイルがあるものとして開いてしまったりして、正しい色再現が行われなくなってしまいます。

そうしたことがないように、きちんと設定を行って作業してください。

カラー設定は、通常は「作業用スペース」と「カラーマネージメントポリシー」を正しく設定しておけば、画像の色が狂ってしまうことはありません。

なお、IllustratorなどのAdobe社のソフトは、最新バージョンであればPhotoshopとほとんど同じカラー設定が行えるので、これらも正しく設定を行っておくべきです。

カラー設定



Photoshop CS4

［5］原稿の制作　●Photoshop（9）

PhotoshopEPS保存

●配置画像の形式

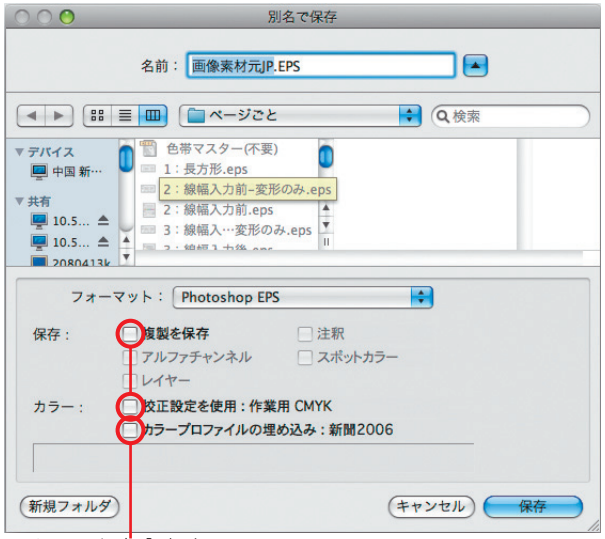
配置画像のファイルは**EPS形式**で保存してください。
アタリ画像ではなく**適切にトリミングした実データ（実寸）**としてください。

チェックを入れない　　Photoshop 7.0J　6.0J

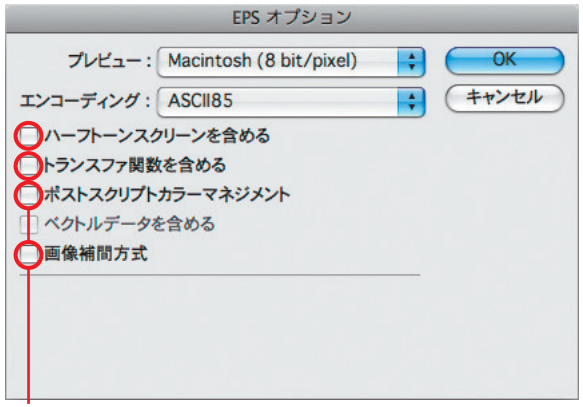
プレビュー：Macintosh（8bit/pixel）

エンコーディング：7.0J以下は**バイナリ**　CS以上は**ASCII85**
※EPS-JPEG(最高画質 最低圧縮)でも可（ただし再保存ごとに画像が劣化する。）

ハーフトーンスクリーン	：チェックを入れない
トランスファ関数	：チェックを入れない
ポストスクリプトカラー管理	：チェックを入れない
ポストスクリプトカラーマネージメント	：チェックを入れない（**6.0以上**）
画像補間方式	：チェックを入れない（**6.0以上**）



チェックを入れない



チェックを入れない　　PhotoshopCS4

●ファイル名に関して

PhotoshopEPSのファイル名について、特に規約はありません。
第３者から見ても、できるだけ判断しやすいファイル名をつけてください。

［5］原稿の制作　●原稿サイズ

原稿サイズ

●デジタル入稿での原稿制作サイズは、**カラー、モノクロ、単色ともに共通**です。
2019年9月より**原稿制作サイズ**は**刷寸**となりました。
旧サイズ **組寸**からの入稿も可能です。（**縦横変倍がかかります**）
（**一部雑報などで小さなサイズの物は縮尺制限を超えサイズエラーとなる可能性があります**）

●本紙記事下広告　刷寸

スペース	天地	左右							
		1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/8	ワイド
1段	32mm	378mm	188mm	124mm	93mm	74mm	61mm	46mm	781mm
2段	66mm								
3段	101mm								
4段	135mm								
5段	170mm								
6段	204mm								
7段	239mm								
8段	273mm								
9段	308mm								
10段	342mm								
11段	377mm								
12段	411mm								
13段	445mm								
14段	480mm								
15段	514mm								

※変形広告、タブロイド版の雑報広告、その他の広告サイズにつきましては、事前にお問い合わせください。
※セレクト記事中・題字横は、通し版記事中と同サイズ。

●本紙雑報広告　刷寸

スペース		天地	左右
題字下	一面	66mm	33mm
	地方版	83mm	18mm
記事中	一枠	40mm	70mm
	1/2枠	40mm	35mm
突出し		83mm	50mm

●タブロイド版

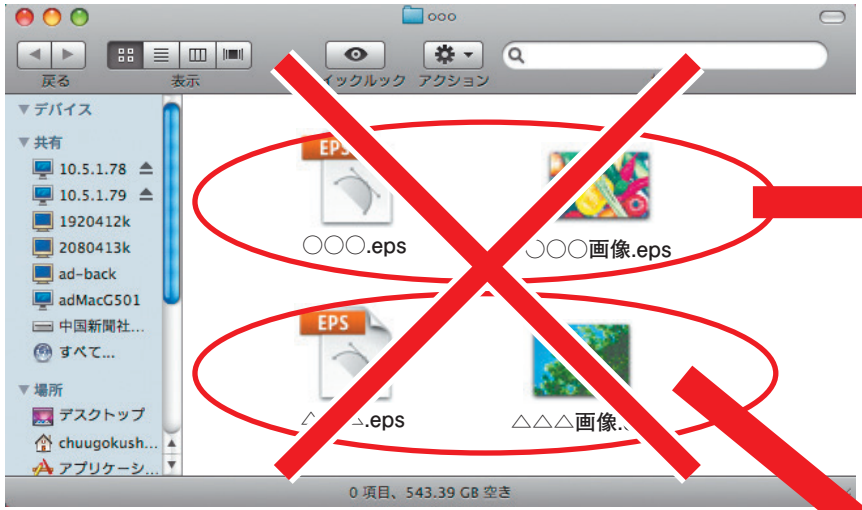
スペース	天地	左右		
		1/1	1/2	ワイド
1段	33mm	242mm	121mm	508mm
2段	71mm			
3段	108mm			
4段	145mm			
5段	182mm			
6段	219mm			
7段	257mm			
8段	293mm			
9段	331mm			
10段	371mm			

※制作されたサイズと原稿サイズに差異が生じた場合、天地左右両辺において、変倍がかかり掲載されることがありますので、データ制作の際はご注意ください。

［6］入稿前の準備　●入稿ファイルの整理

入稿ファイルの整理

●デジタル入稿の場合、原稿を取り違え防止のため、１つのCDに１つの原稿データのみを保存してください。
※不要データは、絶対に保存しないでください。



✕悪い例
１つのCDに複数の原稿データが混在している。
不要なデータが保存されている。

○良い例
１つのCDに１つの原稿データが保存されている。

［6］入稿前の準備　●ウイルスチェック、記入事項

ウイルスチェック

●ウイルスはファイル破壊をはじめ、ソフトやハードに様々なダメージを与えます。
１つの感染ファイルからネットワークやファイルのやりとりを通じて拡大し多大な損害を与えることもあります。
Norton AntiVirusなどの**ワクチンソフトを使い必ずウイルスチェックを行ってください。**
CDのウイルスチェックも忘れずに行ってください。

確認書の記入

●中国新聞社規定の**デジタル入稿確認書**へ原稿データに基づいてチェック、記入し、間違いのない入稿をお願いします。

CD

●原稿データの入稿には、CD-R/CD-RWを使用してください。
原稿データの**圧縮**はしないでください。
※MOでの入稿も受け付けます。（弊社のMOドライブが使用可能の場合まで。）

CDラベル

●CDは、ディスク破損防止のため、ハードケースに入れてください。
CDには、中国新聞社規定の項目（下図参照）を記入した**ラベルを添えて**ください。

中國新聞社　デジタル入稿ラベル

■掲載日：　月　日付　■刊名：朝・セ・別・他
■版（掲載エリア）：　版　◆切替：有／無
■掲載区分：記事下・突出・記事中・題字下・記事挟・２連版・他
■色　数　：　４Ｃカラー　・　モノクロ
■広告主名：
■広告名：
■原稿サイズ：　縦　mm　×　横　mm
■広告会社名：
■備　考：　EPS・N-PDF

ラベルの記入項目

［7］入稿前の最終チェック ●Illustrator & Photoshop

入稿前に以下のチェック項目をもう一度ご確認ください

項目番号	チェック	チェック項目	参照ページ
01		サイズを確認したか。	P31
02		IllustratorとPhotoshopをEPS形式で保存したか。	P32
03		IllustratorとPhotoshopの色指定を正しく設定したか。（RGBは使用していないか。）	P33
04		フォント（フォントのアンカーポイントも含めて）は残っていないか。	P34
05		スポットカラーやブラシオブジェクトが残っていないか。	P35
06		孤立点は全て削除したか。	P36
07		ブレンドオブジェクトは分割・拡張したか。	P37
08		スミ文字やスミのオブジェクトにオーバープリントをかけたか。（カラーの場合のみ）	P38
09		ICCプロファイルを外したか。（Photoshopのみ）	P39
10		UCRは250%以下にしたか。（カラーの場合のみ）	P40
11		画像の解像度は適切にしたか。（Photoshopのみ）	P41
12		Photoshopで画像を保存する時にチェックを全て外したか。（Photoshopのみ）	P42

※画像をイラストレーターに配置後、修正を加えた場合は、必ずイラストレーターファイルを開いて再度保存してください。

［7］入稿前の最終チェック

●Illustrator Ai

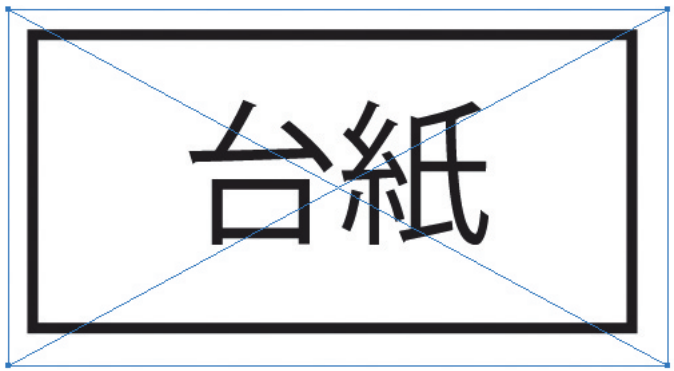
01 サイズエラー

●よくあるエラー内容

原稿が規定のサイズになっていない。
原稿外に不要オブジェクトがある。
マスクが原稿からはみ出している。
マスクがかかっていない画像が原稿からはみ出している。

●確認方法

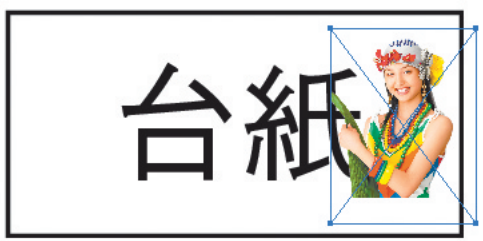
最終のイラストレーターをEPS保存して、それをイラストレーターに配置します。原稿外にオブジェクトや孤立点などがあれば配置された原稿の周りに余白ができます。



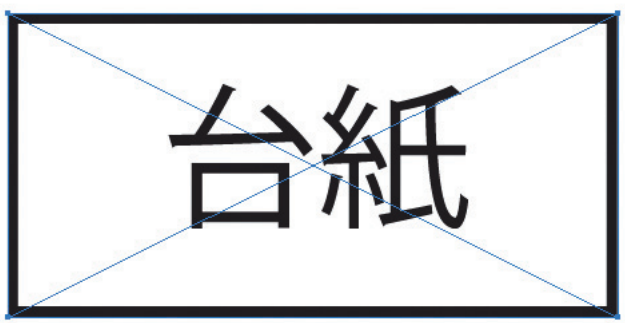
↑余白あり

●対処方法

マスクがかかってない画像は原稿サイズに収まるようにマスクをかけてください。
キリヌキ（クリッピングパス）処理してある画像も全てマスクをかけてください。
はみ出しているマスクはアートワークにしてダイレクト選択ツールではみ出しているマスクの面を選択して原稿サイズに収まるようにします。
原稿外に不要オブジェクトや孤立点があれば削除してください。



↑（例）切り抜き画像、絵柄は台紙の内側に有るが画像そのものは台紙からはみ出ているためサイズエラーの対象となります、原稿内にマスク処理をしてください。



↑余白無し

［7］入稿前の最終チェック

●Illustrator Ai

02 ネイティブエラー

●よくあるエラー内容

イラストレーターファイルがEPS形式で保存されていない。

●確認方法

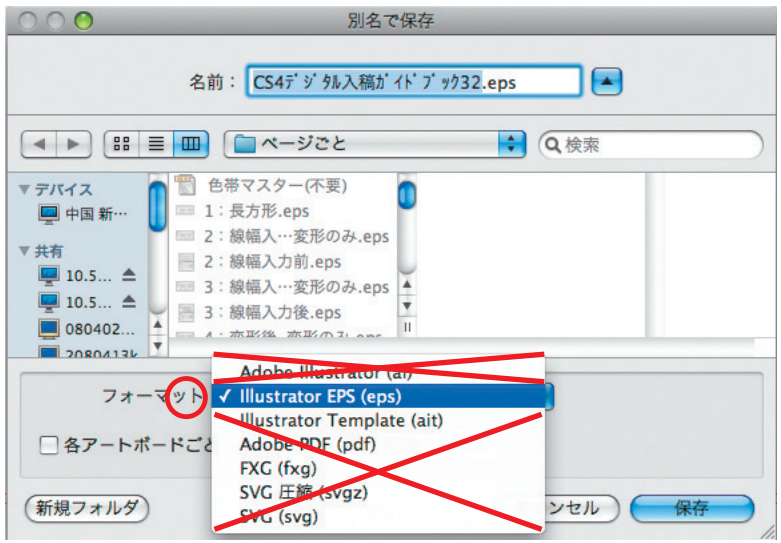
別名保存してIllustrator EPSになっているか確認してください。

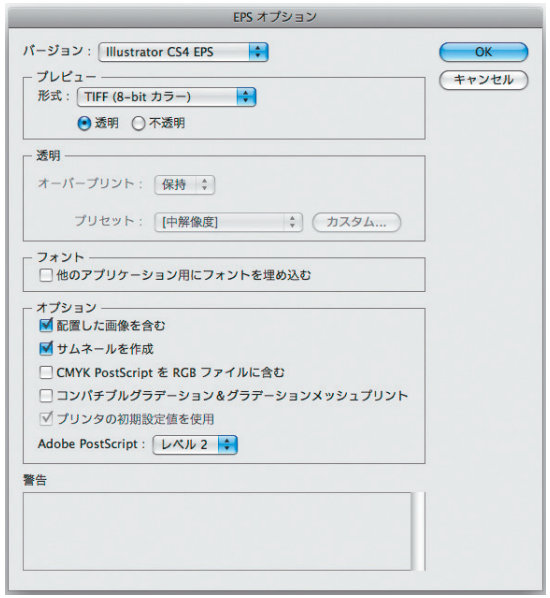
●対処方法

別名保存してIllustrator EPS形式で保存してください。入稿データのIllustrator形式（AI）での保存は厳禁です。
N-PDF形式に関しては、N-PDF入稿ガイドブックを参照してください。

Illustrator 8.0.1J

Illustrator CS4





［7］入稿前の最終チェック

Illustrator Ai

03 色指定エラー

●よくあるエラー内容

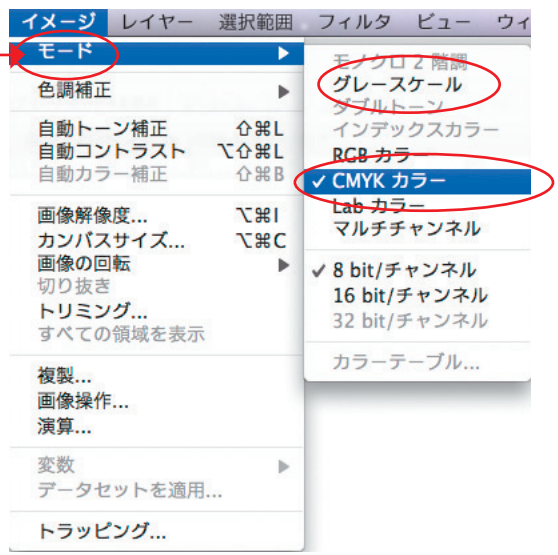
カラー原稿でRGBオブジェクトがある。
モノクロ原稿でカラーオブジェクトやRGBオブジェクトがある。

●確認方法

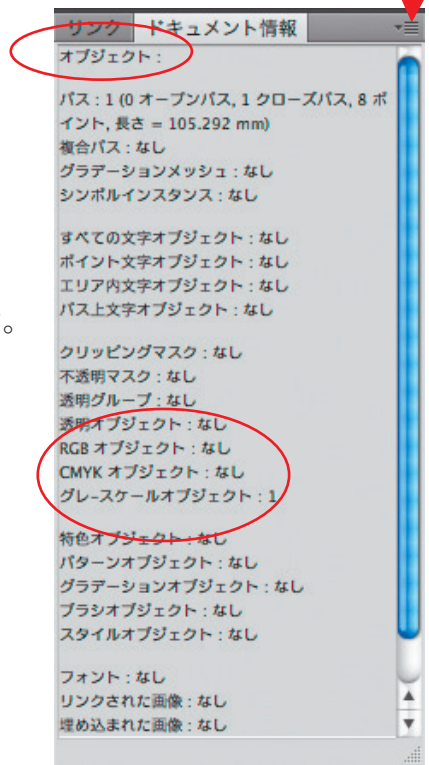
ファイルから書類情報のオブジェクトを開いてカラー原稿の場合はRGBオブジェクトを確認してください。
モノクロ原稿の場合はカラーオブジェクトも確認してください。
（ただし、カラーオブジェクトの中にはCMYKのスミだけのオブジェクトも書類情報の中ではカラーオブジェクトに属します。これはエラーにはなりませんが、できるだけグレースケールに変換してください。）

●対処方法

カラー原稿の場合、RGBオブジェクトの場所がわかっている場合はRGBオブジェクトを選択してCMYK変換します。
モノクロ原稿の場合、RGBオブジェクトやカラーオブジェクトを同じようにグレースケール変換してください。
わからない場合は全てのロックを解除してから全てを選択してからフィルタを使用してください。
（パターンとグラデーションは変換できないのでオブジェクトを作成し直してください。）
ただし、イラストレーター5.5の場合はこの方法が使えないのでオブジェクトを一つ一つ探していくしか方法はありません。



ここをクリックしてオブジェクトを選ぶ



Illustrator CS4

CS4は選択したオブジェクトが対象です

［7］入稿前の最終チェック

Illustrator Ai

04 フォントエラー

●よくあるエラー内容

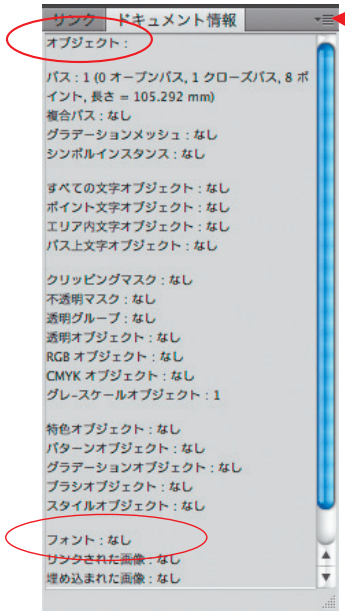
文字をアウトライン化していない。
フォントのアンカーポイントを削除していない。
「フォントも含めて保存」にチェックを入れて保存している。

●確認方法

全てを選択してドキュメント情報→オブジェクトでフォントの有無を確認してください。

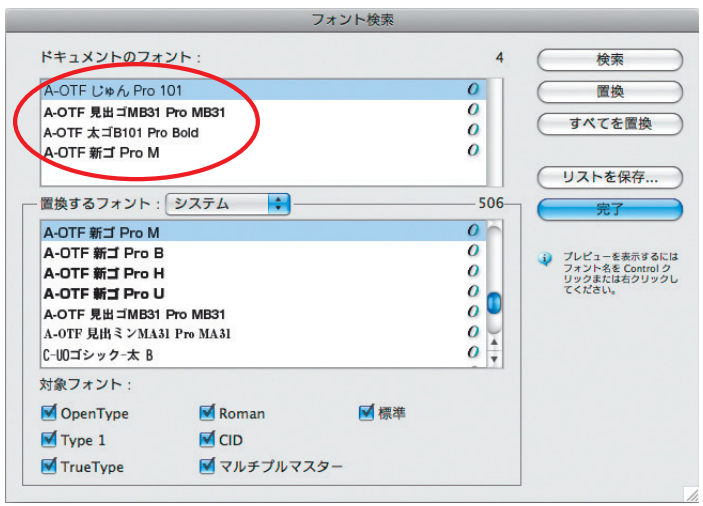
●対処方法

文字のアウトライン作成を選択し、アウトライン化してください。
アートワークにしてフォントの検索、置換をしながらフォントのアンカーポイントを削除します。
（ズームツールで原稿内を拡大して書体名をクリックしながら作業すると見つけやすい。）
データの保存時にフォントデータを含むにチェックを入れないでください。また、スウォッチパレットの中に文字がある場合があるのでスウォッチパレットの中身も削除しておいてください。（スウォッチパレットに文字があるのは制作者が意図的に登録しない限りあり得ません。）

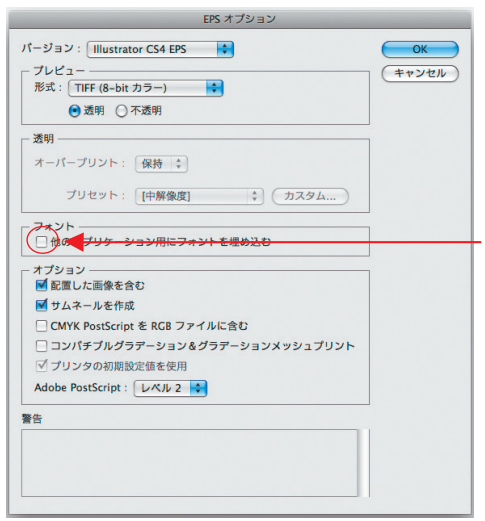


ここをクリックしてオブジェクトを選ぶ

Illustrator CS4
CS4は選択したオブジェクトが対象です



Illustrator CS4



チェックを入れない

［7］入稿前の最終チェック

Illustrator Ai

05 スポットカラー・ブラシエラー

●よくあるエラー内容

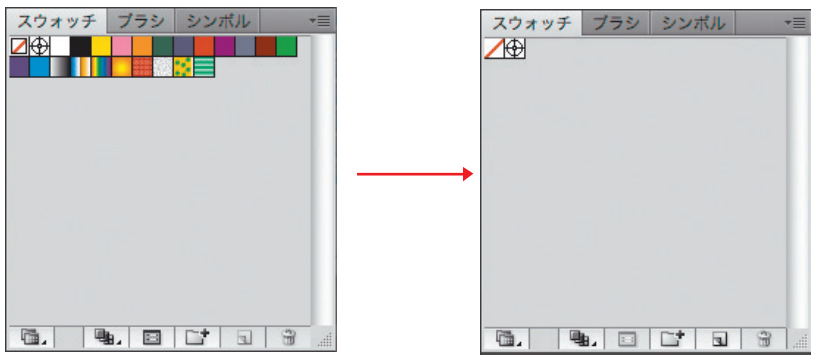
スポットカラー、ブラシオブジェクトがある。

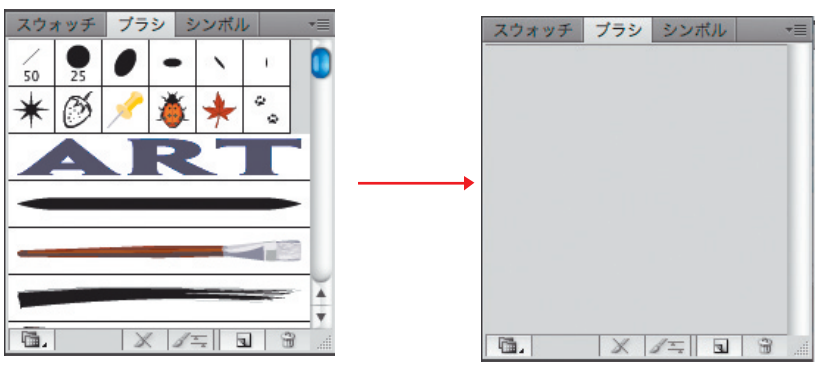
●確認方法

全てを選択してドキュメント情報→オブジェクトでスポットカラーオブジェクト、ブラシオブジェクトがあるか確認してください。

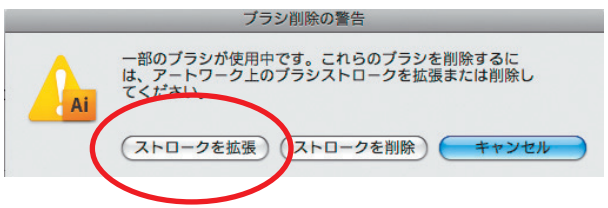
●対処方法

スポットカラーオブジェクトはスウォッチパレットの中身を削除してください。
ブラシオブジェクトもブラシパレットの中身を削除します。
（ブラシオブジェクトが原稿内に残っていればメッセージが出ます。その時はストロークを拡張を選択してください。）
イラストレーター5.5ではスポットカラーを削除すると色が消えるので改めて色を指定してください。



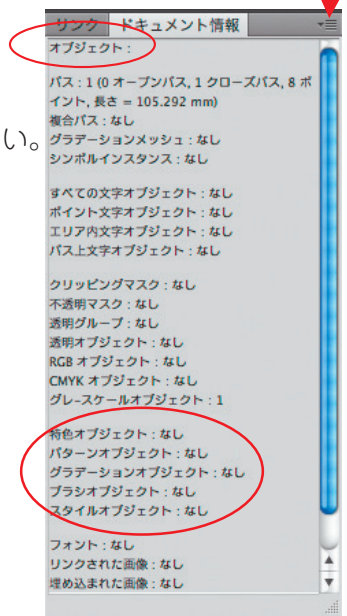


Illustrator CS4



※ブラシの種類によっては**スタイル**を消さないと削除出来ない物があるので、その時は**グラフィックスタイル**のウィンドウを開き**スタイル**を削除してブラシを削除してください。

ここをクリックしてオブジェクトを選ぶ



Illustrator CS4
CS4は選択したオブジェクトが対象です

［7］入稿前の最終チェック

Illustrator Ai

06 孤立点エラー

●よくあるエラー内容

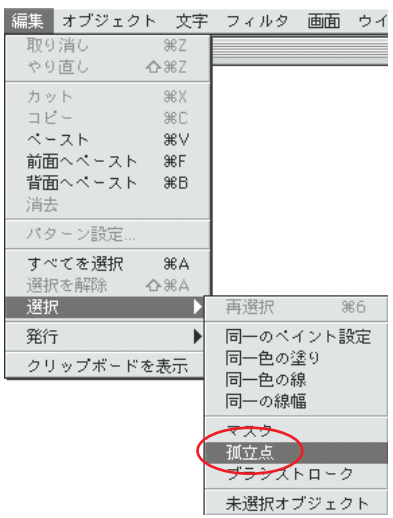
原稿の内外に孤立点がある。
ガイドラインのカスが残っている。

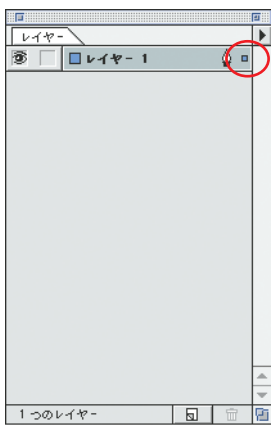
●確認方法

原稿外の孤立点の有無はイラストレーターをEPS保存して、それをイラストレーターに配置すると、実際のサイズが確認できます。
ガイドラインのカスは画面をアートワークにしてズームツールで画面を最小まで縮小してください。

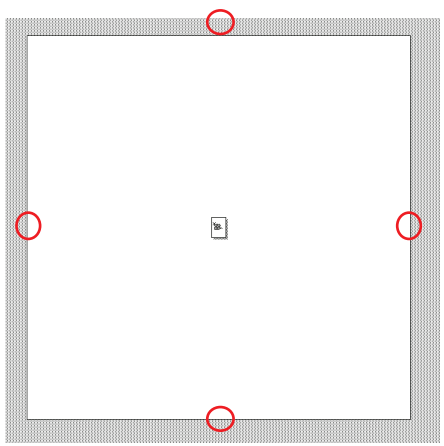
●対処方法

アートワークにして編集から選択の孤立点を選択する。孤立点がある場合はレイヤーのペンの横に表示されます。
イラストレーター5.5の場合はフィルタの選択の中に同じ機能があります。
CS4は**選択→オブジェクト→余分なポイント**
（しかしこの方法で全ての孤立点を選択できるわけではありません。中には直接に選ばないと選択できない孤立点もあります。）
ガイドラインを削除する場合はガイドラインと他のオブジェクトにグループ化されてないか確認し、画面から「ガイドを削除」を選択します。

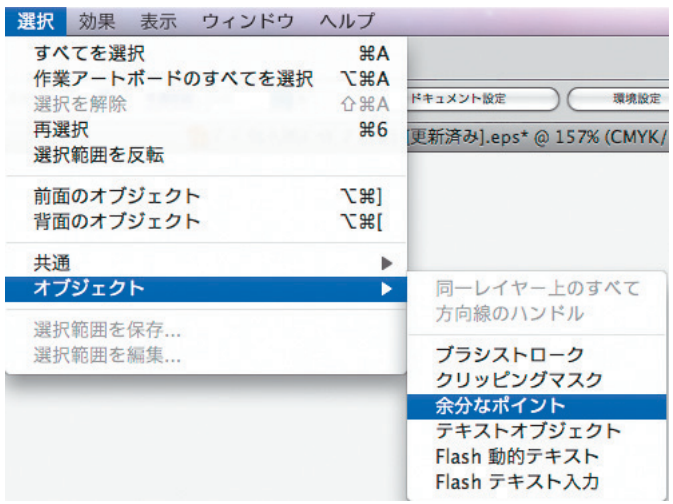




Illustrator 8.0.1J



○のあたりに孤立点のカスがよく残っているので気を付けてください。



Illustrator CS4

［7］入稿前の最終チェック

●Illustrator Ai

07 アピアランスエラー

●よくあるエラー内容

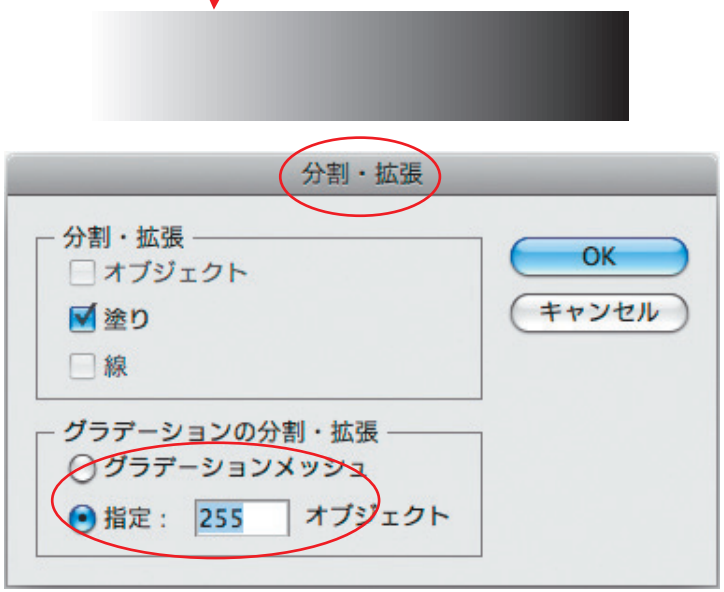
ブレンドのオブジェクトがある。

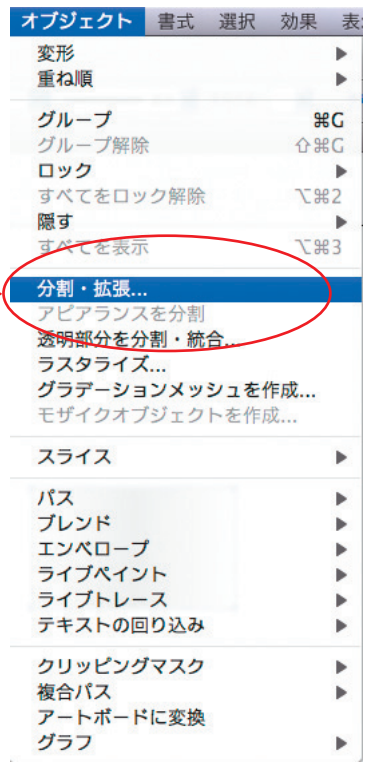
●確認方法

選択ツールでブレンドオブジェクトを選択してください。

●対処方法

ブレンドオブジェクトがあった場合はオブジェクトの分割・拡張をします。
グラデーションを分割・拡張する場合は指定：□個のオブジェクトを選択します。





Illustrator CS4

［7］入稿前の最終チェック

Illustrator Ai

08 オーバープリント

オーバープリントについて

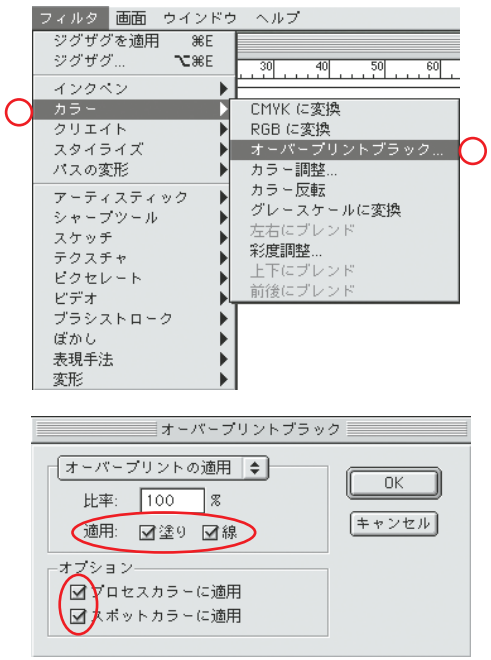
版ズレや紙の伸び縮みによるバックと墨文字や墨のオブジェクトの間に白地を出さないためにオーバープリントをかけます。

●オーバープリントのかけ方

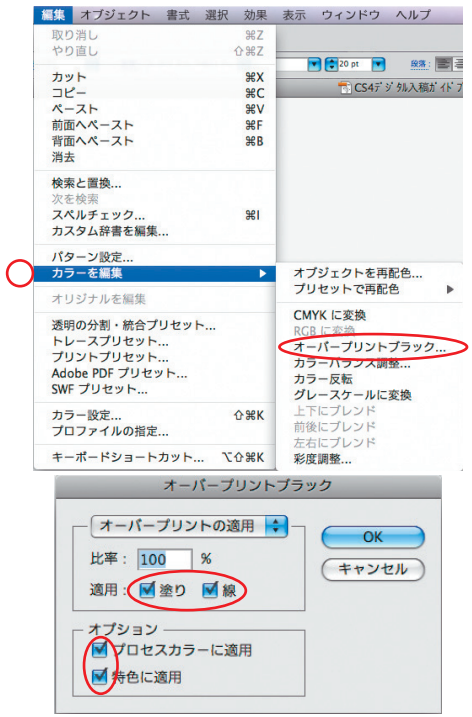
イラストレーター8.0、CSは全てを選択してフィルタのカラーからオーバープリントを選択します。イラストレーター5.5は選択を解除してオーバープリントをかけても大丈夫です。

●オーバープリントをかける時の注意事項

色文字やカラーオブジェクトにオーバープリントをかけるとバックのオブジェクトや画像に対してノセになってしまうのでノセになっている部分の色が変わってしまいます。これはイラストレーター5.5も同じです。（故意にオーバープリントをかけない限り墨しかオーバープリントはかかりません。）



Illustrator 8.0.1J



Illustrator CS4

版ズレや紙の伸び縮みが起きた例

バックに対して色をノセた悪い例

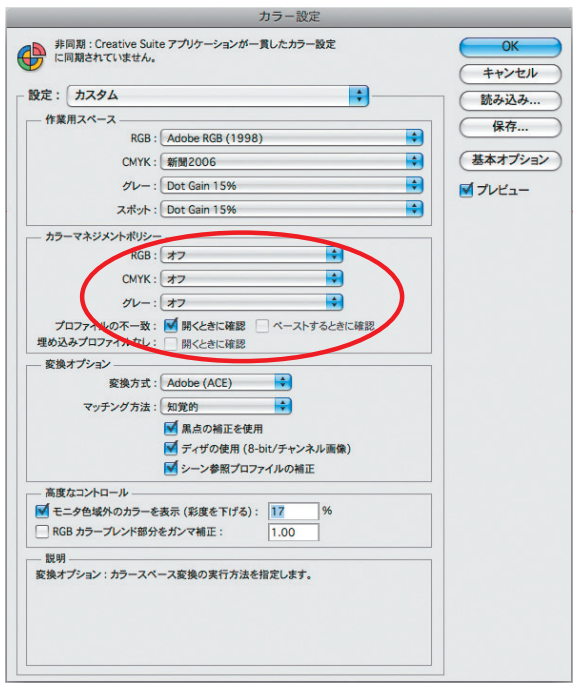
［7］入稿前の最終チェック　●Photoshop

09 ICCプロファイルエラー

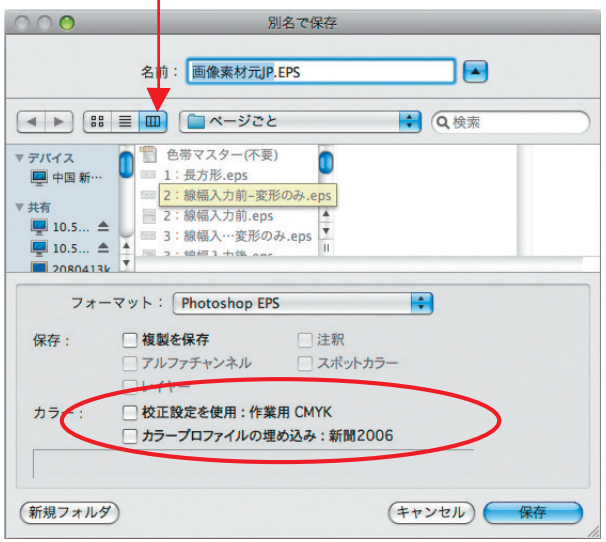
●よくあるエラー内容
画像にICCプロファイルが設定されている。

●確認方法
画像を開く前にフォトショップのカラー設定でICCプロファイルを外してください。
（一度設定すると戻さない限り設定は生きます。）

●対処方法
設定をしてしまえば広告主や素材集などから受け取った画像は保存し直しただけでICCプロファイルの設定は外れます。
ただし、フォトショップ6.0以上のバージョンをお使いになる場合は別名保存する時にもICCプロファイルの項目が下に出るのでチェックを外してください。配置後にICCプロファイルを外した場合は、再度イラストレーターファイルを開いて保存してください。



Photoshop CS4



Photoshop CS4

［7］入稿前の最終チェック

●Photoshop Ps

10 UCRオーバーエラー

●よくあるエラー内容

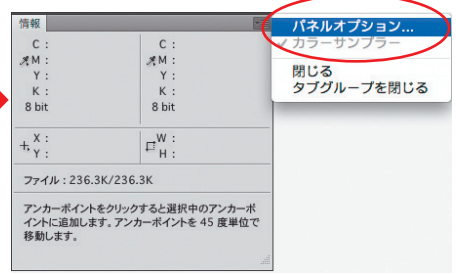
配置されている画像のインキ総量が250％を超えている。
イラストレーターの網％が250％を超えている。

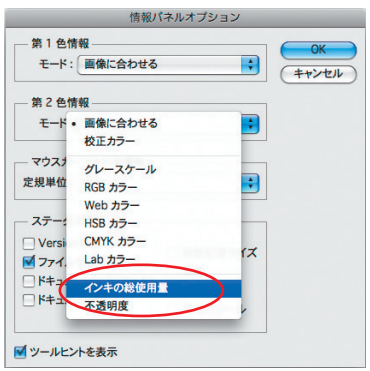
●確認方法

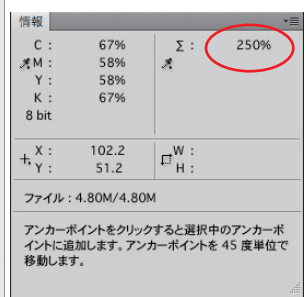
情報パレットのオプションを表示させ第2色情報のモードをインキの総使用量にしてください。
情報パレットの右にΣが表示されます。スポイトツールでシャドウ部分(影や暗い部分)のインキの総使用量を計ります。

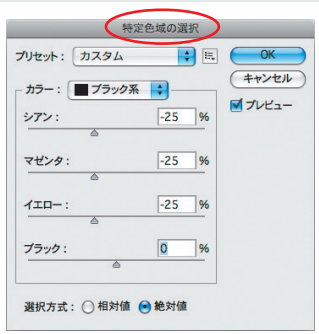
●対処方法

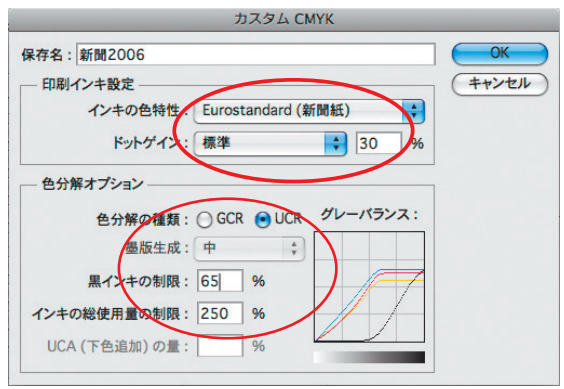
イメージの中の色調補正で、特定色域の選択やトーンカーブを使ってインキの総使用量を250％以下に落としてください。
インキの総使用量を250％以下に落とす場合スミだけでなく、グレーバランスを考えながら落としてください。
広告主等からもらったRGBの画像をCKYK変換する場合は前もって編集のカラー設定で新聞用を作成されることをおすすめします。











Photoshop CS4

［7］入稿前の最終チェック　●Photoshop

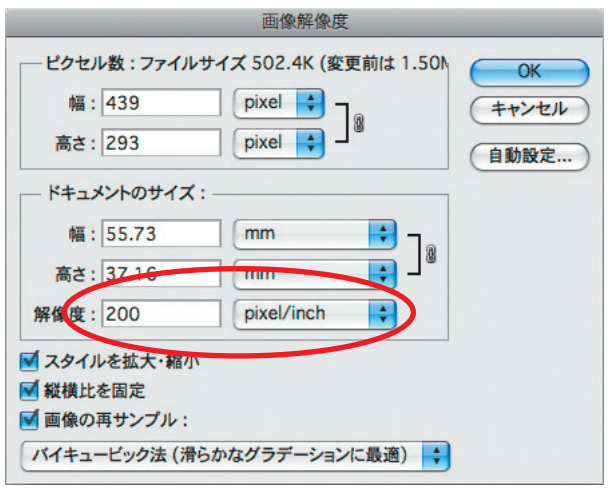
11 解像度エラー

●よくあるエラー内容
配置されている画像の解像度が不適切である。

●確認方法
例1 設定解像度200ppi実寸配置の場合
イメージから画像解像度を選んで解像度が200ppiになっているか確認します。
例2 設定解像度200ppi イラストレーターで50％縮小配置の場合
イメージから画像解像度を選んで解像度が100ppiになっているか確認します。

●対処方法
イラストレーターでの配置は、できるだけ実寸配置にしてやむをえず縮小拡大配置にする時はそれに適した解像度にする必要があります。
推奨解像度が165～220ppiなので画像解像度を200ppiにしておけば、イラストレーターでの拡大縮小が91％から121％まで可能です。

配置後に画像解像度を修正された場合は、再度イラストレーターファイルを開いて保存してください。



Photoshop CS4

(例)
設定解像度200ppi 75%配置の場合→150ppi
設定解像度200ppi 50%配置の場合→100ppi
設定解像度200ppi 25%配置の場合→50ppi
設定解像度200ppi 125%配置の場合→250ppi
(計算方法)
設定解像度200ppi 80%配置の場合
200×0.8＝160ppi

［7］入稿前の最終チェック　●Photoshop

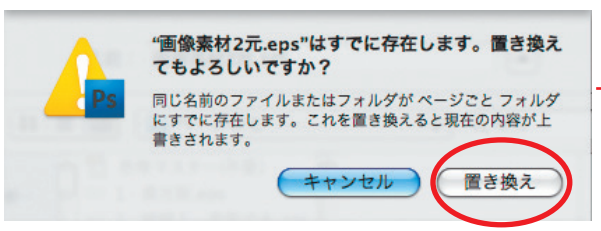
12 その他のエラー

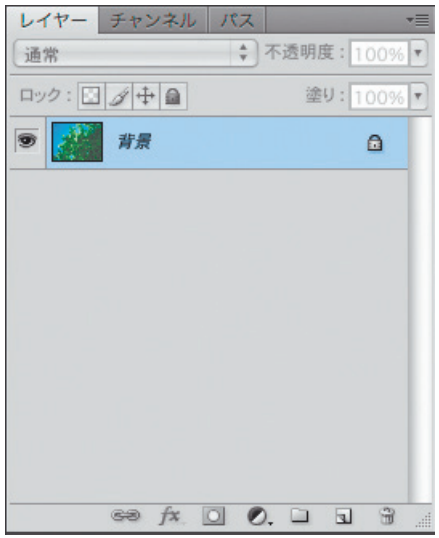
●よくあるエラー内容
ハーフトーンスクリーンやトランスファ関数が指定されている。
保存形式がPhotoshopEPS以外で保存されている。

●確認方法
画像を開いて別名保存してください。（置き換え保存）

●対処方法
レイヤーパレットを表示して画像が統合されていなかったら統合してください。
チャンネルパレットにアルファチャンネルなどが残っていた場合は削除してください。
保存する際は下図を参考に保存してください。

チェックをすべて外してください。





Photoshop CS4

［8］カラーの事前確認　●CMSカラープルーフ

●中国新聞社では、色見本にCMS（Color Management System）から出力したカラープルーフを使用します。
カラープルーフの色あいは新聞紙面と近似しており、本入稿前の事前確認を利用することで新聞紙面での再現を事前に把握することができます。ぜひご活用ください。

事前確認

●希望により前もって広告会社での色味の確認も含めて、掲載日4～5日前までに入稿データの事前確認を行います。
※カラー広告のみ

●色あいの確認用として新聞社のCMSでカラープルーフを出力します。

●CMSより出力されたプルーフは、実際の印刷の色見本として使用します。

●CMSは、擬似的に輪転機印刷を再現したものです。ルーペなどで観察しても正確な色は見られません。
通常の距離から標準的な光源の下で色あいの確認を行ってください。

●従来までの平台校正ゲラは、新聞輪転機の印刷再現領域を超えた色あいを表現しており、実際の紙面を想定したものとして評価すると、誤解を招く恐れがあります。

●ご要望があれば、画像処理などのアドバイスを行います。また、画像補正のご希望がありましたら、お問い合わせください。

※事前確認のご利用にあたっては、デジタル入稿された広告が条件となります。

ワークフロー

1．**受付**
掲載CDデータとデジタル入稿確認書を持参してください。

2．**データチェック**
本入稿時と同様に掲載データのチェックを行います。

3．**カラープルーフ出力**
色あいの確認用プルーフとして一掲載1～3枚まで出力します。データ修正後の追加出力や、本入校時の出力も含めて5枚まで無料で出力します。6枚目以上は有料とします。

4．**引渡し**
CDデータとカラープルーフをお渡しし、データチェックの結果報告を行います。
広告会社からご要望がありましたら、画像補正などのアドバイスや処理を行います。お問い合わせください。

［9］入稿　●入稿ファイルの整理

念校ゲラについて

●カラー広告、モノクロ広告ともに、**念校ゲラ**（最終出力）**を１枚添付**してください。
●カラー広告の場合、カラープルーフ（最終出力）を１枚添付してください。
●念校ゲラには、必ず　**掲載日、刊名、版名（掲載エリア）、広告主名、掲載サイズ、色指定、広告会社名**を明記してください。
※初回掲載のデータ入稿時に同一月内で複数の掲載日が決定している広告の場合、掲載日ごとに念校ゲラをご用意ください。

※月極（フリー）広告の場合、掲載日は**掲載可能な期間**を念校ゲラに明記してください。
※データの訂正（改稿）後再入稿される際は、念校ゲラに**改稿部分**をマーカーで明記してください。
※**データ入稿前に必ず広告の審査を済ませ**、念校ゲラに**“審査済み”**であることを記載してください。
●カラー広告をデジタル入稿する場合、中国新聞社へ色見本（本紙校正）の持ち込みの必要はありません。

デジタル入稿締切

●モノクロ・カラー広告全て、**掲載日２日前　正午**までに入稿してください。 **※詳細はP04参照**

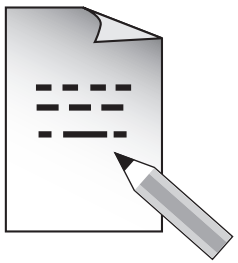
※入稿トラブルが予測されますので、なるべく早めの入稿をお願いいたします。

入稿ファイルの整理

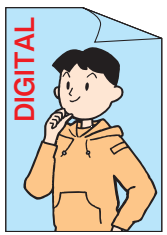
●すべての準備ができましたら、CD、デジタル入稿確認書、念校ゲラを一緒に入稿してください。

CD

＋


デジタル入稿確認書

＋



念校ゲラ

※入稿前にすべての項目をいま一度ご確認ください

中國新聞社
http://www.chugoku-np.co.jp/

〒730-8677　広島市中区土橋町７番１号

地域ビジネス局営業部　☎（082）236-2211　FAX（082）236-2216
広告編成チーム　☎（082）236-2203　FAX（082）236-2220

2021年 ７月発行　第４.０版

中国新聞備後本社	〒720-0065	福山市東桜町１２－５	☎（084）923-1717	FAX（084）923-5121
中国新聞防長本社	〒753-0072	山口市大手町３－６　大手町ビル３F	☎（083）976-8222	FAX（083）928-6719
東京支社	〒100-0011	東京都千代田区内幸町２丁目２－１　日本プレスセンタービル２F	☎（03）3597-1611	FAX（03）3597-8468
大阪支社	〒530-0003	大阪市北区堂島２丁目１－４３　紀陽ビル５F	☎（06）6453-2871	FAX（06）6453-2896
呉支社	〒737-0051	呉市中央２丁目１－１	☎（0823）22-5527	FAX（0823）22-5528
東広島総局	〒739-0016	東広島市西条岡町５－７	☎（082）422-2911	FAX（082）420-0124
福岡支局	〒810-0002	福岡市中央区西中洲１２－３３　福岡大同生命ビル１２F	☎（092）741-5876	FAX（092）741-9032

Adobe、Adobeロゴ、PostScript、PostScriptロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Photoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
QuarkXPressはQuark, Inc.の登録商標です。
その他全ての製品名またはブランド名はそれらの所有者の商標または登録商標です。

このデジタル入稿ガイドブックの仕様は変更される場合があります